

小野田赤十字病院

1 病棟改修 (5床増床) 工事

(建築主体工事)

図面番号	図面名称
A-01	建築改修工事特記仕様書(1)
A-02	建築改修工事特記仕様書(2)
A-03	建築改修工事特記仕様書(3)
A-04	建築改修工事特記仕様書(4)
A-05	設計概要書・付近見取図・仕上表
A-06	全体配置図
A-07	1 病棟平面図
A-08	改修前 平面詳細図
A-09	改修後 平面詳細図
A-10	改修前後 天井伏図
A-11	改修前後 断面詳細図
A-12	改修後 建具表・LVS計算表
A-13	改修後 部分詳細図

図面番号	図面名称
E-01	電気設備特記仕様書
E-02	電気設備等指定表
E-03	改修前 電灯設備図
E-04	改修前 コンセント設備図
E-05	改修前 弱電・火災報知設備図
E-06	改修前 ナースコール設備図
E-07	改修後 照明器具姿図
E-08	改修後 電灯設備図
E-09	改修後 コンセント設備図
E-10	改修後 弱電・火災報知設備図

図面番号	図面名称
M-01	機械設備工事特記仕様書ー 1
M-02	機械設備工事特記仕様書ー 2
M-03	機械設備工事特記仕様書ー 3
M-04	改修前後 給排水設備 衛生器具表、桝リスト、凡例
M-05	改修前 給排水設備 1 階平面詳細図
M-06	改修前後 給排水設備 排水設備 断面図
M-07	改修前 消火設備 (スプリンクラー) 1 階平面詳細図
M-08	改修前後 空調設備 空調・換気機器表
M-09	改修前 空調設備 1 階平面詳細図
M-10	改修前 医療ガス設備 1 階平面詳細図
M-11	改修後 給排水設備 1 階平面詳細図
M-12	改修後 消火設備 (スプリンクラー) 1 階平面詳細図
M-13	改修後 空調設備 1 階平面詳細図
M-14	改修後 医療ガス設備 1 階平面詳細図
M-15	改修後 医療ガス設備 コンソール詳細図

建築改修工事特記仕様書

1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和最新版」（以下「改修標準仕様書」という）及び「建築改修工事監理指針 令和最新版」による。
2. 特記仕様の適用方法
- （1）項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。
- （2）特記事項に ⊙ 印の付いたものを適用する。
- （3）項目に記載の表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す。
特記事項について、（ ）は改修標準仕様書の記載内容、《 》は公共建築工事標準仕様書（令和最新版）の内容を示し、
[] は標準仕様書以外の内容を含む。
- （4）下線部は、改修標準仕様書に記載されている仕様を示す。

章	項 目	特 記 事 項
改修一般共通事項	① 適用基準等	○ 公共建築工事標準仕様書（令和最新年版） 国土交通省大臣官房官庁業務部監修 ○ 建築工事標準詳細図（令和最新年版） 国土交通省大臣官房官庁業務部監修 （以下「標準詳細図」という） 分類番号は図示する。 ・ 防衛施設周辺防衛事業工事標準仕様書（最新版） すべての設計図書は、相互に補完するものとする。ただし、設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の（ア）から（オ）までの順番のとおりとし、これにより難しい場合は、改修標準仕様書1.1.Bによる。 （ア）質問回答書（（イ）から（オ）までに対するもの） （イ）現場説明書 （ウ）特記仕様書 （エ）図面 （オ）改修標準仕様書
	② 着工時の提出図書	工事請負契約書に定められたもののほか、次のものを監督職員の指示に従い着工時に提出すること。 ○ 工事用製本図面（工事用A2版）（ 0 ）部 （監督職員0部、施設管理者0部、事業課0部、その他0部） （縮小版A3版）（ 4 ）部 （監督職員3部、施設管理者0部、事業課0部、その他1部）
	③ 総合図	施工図作成に先立ち、建築及び別契約の関連工事と協議、調整を行い、統合した図面（総合図）を作成し、監督職員に提出して承認を受ける。なお、作成の主導は本工事で行う。
	4 電気保安技術者 （1.3.3）	・ 配置する ・ 配置しない
	⑤ 施工条件 （1.3.5）	施工時間帯 ○ 指定なし（契約後、監督職員及び施設管理者と協議の上、決定する。） ・ 指定有り（ 時 ～ 時 ） 部位別の施工順序 ○ 指定なし（契約後、監督職員及び施設管理者と協議の上、決定する。） ・ 指定有り（ ） （ ） （ ） （ ） 工事用車両の駐車場 ○ 指定なし（契約後、監督職員及び施設管理者と協議の上、決定する。） ・ 指定有り（ ～ ） 資機材置場 ○ 指定なし（契約後、監督職員及び施設管理者と協議の上、決定する。） ・ 指定有り（ ～ ）
	6 施工中の安全確保 [1.3.7]	工事施工にあたり事前に処置すべきもの（ ）
	⑦ 安全衛生管理体制 [1.3.7]	労働安全衛生法第30条第2項に基づき、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として指名する。
	⑧ 発生材の処理等 [1.3.12]	発生材の処理にあたっては、「建設副産物適正処理推進要綱」、「建設廃棄物処理指針」、「入札条件及び指示事項」及び関係法令等に従い適切な処理を行う。 ・ 発注者に引渡しを要するもの（ ） ・ 引渡し場所（ ） ○ 管理型産業廃棄物 ○ 廃せこうボード ・ 木毛セメント板 ・ ・ 特別管理型産業廃棄物 ・ PCB（施設管理者へ引き渡し） ・ 廃石綿 ・ - 処理方法（ ） ・ 現場において再利用を図るもの ・ 再生資源化を図るもの - コンクリート塊（特定建設資材） - アスファルトコンクリート塊（特定建設資材） - 建設発生木材（特定建設資材廃棄物） ○ 特定建設資材以外の発生材 ・ 建設汚泥（ ・ 中間処理施設 ・ 最終処分場 ） ○ 建設混合廃棄物（ ・ 中間処理施設 ○ 最終処分場 ） ○ 金属くず（ ・ 中間処理施設 ○ 最終処分場 ）
	⑨ 環境への配慮 [1.4.1]	山口県グリーン購入の推進方針及びグリーン購入ガイド（以下「グリーン購入」という。）に基づき、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。 使用する材料等は、設計図書で定める性能等を有し、次の1）から5）を満たす材料とする。 1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリヤ樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか放散が極めて少ないもの。

1 0	施工数量調査 [1.5.2]
1 1	調査のための破壊 部分の補修 (1.5.3)
1 2	技能士 [1.6.2]
1 3	化学物質の濃度測定 [1.6.9]
1 4	技術検査 [1.7.2]
1 5	工事写真 [1.2.4]
1 6	完成写真

- 2) 保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか放散が極めて少ないもの。
- 3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか放散が極めて少ないもの。
- 4) 塗料は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか放散が極めて少ないもの。
- 5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか放散が極めて少ないもの。

働安全衛生法施行令別表第三に定められた特定化学物質を規定値以上含有する物を使用する場合は、
定化学物質障害予防規則を遵守すること。

調査範囲	・ 外壁（庇共）による
調査方法	・ テストハンマーによる打診及び目視
調査要領	・ 「建築改修工事特記仕様書12-11」及び「建築改修工事特記仕様書12-12」による ・ 「建築仕上げ改修施工管理技術者」の資格を有する者が行う。
報告書	・ 外壁調査は、上記の調査要領により外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ等の位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行い、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する。

修方法 ・ 図示による ・

能力士の適用は下記による。

工事別	適用職種	工事別	適用職種
設工事	・ とび	内装改修工事	・ 建築大工 ・ 建築板金 ○ 左官 ・ 塗装 ・ タイル張り
水改修工事	・ アスファルト防水 ・ 改質アスファルト防水 ・ ウレタンゴム系塗膜防水 ・ 合成ゴム系シート防水 ・ 塩化ビニル系シート防水 ・ シーリング 防水	○ 内装仕上り施工の各工事作業 ○ 鋼製下地 ○ キーパ 仕上げ ・ カベ・タ系床 ○ プラスチック系床	
		塗装改修工事	・ 塗装
		耐震改修工事	・ 鉄筋施工 ・ 型枠施工 ・ とび ・ コンクリート送施工 ・ 鉄工
壁改修工事	・ 樹脂接着剤注入施工	屋根工事	・ 建築板金 (内外装板金作業) ・ スレート施工 ・ かかわらぶき
器具改修工事	・ カシ施工 ・ ガラス施工		

定対象室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に測定結果を提出する。(提出部数 1 部)

定対象室及び測定箇所数

・	(箇所)	・	(箇所)
・	(箇所)	・	(箇所)

測定方法及測定対象化学物質

- ・ 予備濃度測定
- 測定法 (・ 検知管法 ・)
- 測定対象化学物質 ホルムアルデヒド・トルエン
- ・ 引渡し前濃度測定

学校施設の場合

- ・ 厚生労働省の標準測定法

学校施設以外の場合

- ・ パッシブ型採取機器

測定対象化学物質

- ・ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン
用途が学校の場合は、パラジクロロベンゼンを加えた6物質を測定
- ・ その他 ()

測定方法等については、監督職員の指示を受けること。

検査に必要な資機材等は以下による。

バケツ、懐中電灯、木槌、鏡、脚立、ドライバー、チョーク、下げ張り、レベル、スコップ、スチールテープ（50m程度）、散水ホース、ガラス厚を測定する器具、その他監督職員が指示する資機材

記のものを監督職員に提出する。

分類・規格		撮影時期	撮影場所	部数	備考
ラー	サービス版(1版)	着工前、施工中、完成	通直	1部	電子データ共
電子データの提出方法については「工事写真の電子データの提出について」による。					
工事写真は、国土交通省大田官房官営官営機部監修「工事写真撮影ガイドブック」及び					
営機工事写真撮影要領(最新版)」による。					
記のものを監督職員に提出する。					
分類・規格等			撮影箇所	部数	
ラー	・ サービス版(1版)	・ 工事用アルバム形式 注解(室名)する。	箇所	1部	
	・ キャビネ版(21版)	・ 電子データ(CD-R)			

電子データは、RGB(カラー)、JPEG形式の最高画質とすること。

⑦ 完成時の提出図書
(1.8.1~3)
(9.6.4)

完成図：CADデータで提出する。		表1.8.1
種類	記入内容	
○ 配置図及び案内図	敷地及び建築物等の面積表、屋外排水系統図、外構、植栽	
○ 各階平面図	室名、室面積、耐震壁	
○ 各立面図	外壁仕上げ	
○ 断面図	階高、天井高等を表示し、2面以上作成	
○ 仕上表	屋外、屋内の仕上げ、色番号、材料名、メーカー名等	
・ 施工図	・ 構造躯体 ・ オートワーク	
・ 施工図図書	・ オートワーク	

製本図面

黒表紙付きA4版(年度、工事名、工期、施工業者名を金文字で記入)に下記図面を製本したもの。

・ 完成図(確認済証、検査済証、施工体系図、保証書のコピー共) ・ 設計図

提出部数 (1) 部

A 2 版(年度、工事名、工期、施工業者名を記入)に下記図面を製本したもの。

○ 完成図 提出部数 (2) 部

マイクロフィルム 提出部数 1 部

提出部数 ・ 1 部 ・ 2 部 ・ () 部 ・ 不要

保証書 黒表紙に写しを綴じること。

・ 防水 保証期間（工事引渡日の翌日から１０年 年）

提出部数（ ）部

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

設備工事との取り扱い	建築	電気	機械
鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（埋込壁、フルボックス、ダクト、配管等）の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ	開口部補強	○	・
	電気のスリーブ等	・	・
	機械のスリーブ等	・	○
埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井ボード類の切込み及び下地補強	切込み及び補強	○	・
	電気露出し	・	○
	機械露出し	・	○
電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（ふた含）	基礎及びビット	・	・
	電気露出し	・	・
天井点検口	○	・	・
軽量鉄骨製のボックス取付用下地	・	○	・
機器類の吊りボルト用インサート	電気設備	・	・
	機械設備	・	○
機器類の取付け用アンカーボルト	電気設備	・	・
	機械設備	・	○
コンクリート基礎（外灯設備）	・	・	・
コンクリート基礎（機械設備機器類）	屋上設置	・	・
	屋内設置	・	・
	屋外設置	・	・
オイルサービスタンク防油堤	・	・	・
自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及び「7センチ、70センチ」	・	・	・
OAフロア・フリーアクセスフロアパネルの切込み及び補強	・	・	・
OAフロア・フリーアクセスフロア仕上材の切込み及び補強	・	・	・
外壁取付けガラー	・	・	・
換気扇枠、換気扇枠用アルミパネル開口（ストッパー取付を含む）	・	・	・
建築工事を含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の 配管・配線	1 次側	・	・
	2 次側（盤含む）	・	・
機械設備工事に含む設備機器付属の制御盤及び操作 盤の配管・配線	1 次側	・	・
	2 次側（盤含む）	・	・
機械設備制御盤から別途盤類への渡り配管・配線の接続	・	・	・
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管	・	・	・
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線	・	・	・
エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付	・	・	・
エアコンの室内、室外ユニット間の渡り配線（アース共）	・	・	・
換気機器用スイッチ本体（空調換気扇用、24時間換気用を除く）	・	○	・
換気機器用のスイッチの配管・配線及びスイッチ取付	・	○	・
機械設備工事に含む遮断装置の操作部及び感知器の配管・配線	・	・	・
機械設備工事に含む電柱の配管・配線	・	・	・
凝音装置の埋込ボックス	・	・	・
電気開閉式大便器用洗浄弁の一次側電源の配管・配線	・	・	・
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配管	・	・	・
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	・
ガス給湯器のアース配線	・	・	・
屋内、屋外雨水管	・	・	・

20 撤去部分
21 耐荷重及び耐外力
22 工事の一時中止に係る計画の作成
23 部分の引渡し
24 足場等
25 既存部分の養生
26 仮設間仕切り
27 仮設工事
28 監督職員事務所
29 工事用水
30 工事用電力
31 工事表示板
32 工事現場における提示物等
33 イメージアップ
34 鉄筋工事
35 マンホール工事
36 石綿含有成形板
37 防水改修工事
38 建具改修工事

Architectural specification form for interior renovation. It includes sections for materials (building materials, wall/ceiling treatments, floor treatments, etc.), construction methods, and specific details for various components like doors, windows, and flooring. The form is organized into columns for different parts of the project and includes checkboxes for various options and standards.

5	仕上げ塗料塗り (7章4節～15節)	表7.4.1～7.15.1				9	点検口	・ 屋上 材種 ・ ステンレス製 寸法(mm) ・ 径550 ・ 径600 ・ 500×500 ・ 鋼製 寸法(mm) ・ 径550 ・ 500×500 ⊙ 天井 材種 ⊙ アルミニウム製 寸法(mm) ⊙ 450×450 ・ 600×600	
		塗装の種類	塗装面	工程					
		・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 塗料の種類 ・ 1種 ・	木部(外部)	・ B種	・ A種	⊙ 一般形	⊙ 外枠・内枠とも顔縁タイプ		
			木部(内部)	・ B種	・ B種(鉄板・鋼板・鋼管等) ・		・ 外枠顔縁・内枠目地タイプ		
			鉄鋼面	・ B種	・ A種 ・ B種		・ 外枠目地・内枠顔縁タイプ		
			亜鉛めっき鋼面	・ B種	・ B種		・ 外枠・内枠とも目地タイプ		
			鋼製建具	・ A種	・ B種		・ 内枠のみ顔縁タイプ		
			木部	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種				
		・ クリヤラッカー塗り(CL) ・ フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)	屋内木部	表7.6.1による					
			鉄鋼面	表7.6.2による					
			亜鉛めっき鋼面	表7.6.2による					
			屋内のコンクリート面	・ B種					
		・ アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD)	屋内の鉄鋼面						
			鉄鋼面	・ A種 ・ B種	・ A種				
		・ 耐候性塗料塗り(DP)	上塗り ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ C種					
			亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種	・ A種				
			上塗り ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ C種					
			コンクリート面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種					
			押出成形 セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種					
			コンクリート面	・ B種	・ A種 ・ B種				
		・ つや有合成樹脂エマルジョン ペイント塗り(EP-G)	モルタル面	・ B種	・ A種 ・ B種				
			プラスター面	・ B種	・ A種 ・ B種				
			せっこうボード面	・ B種	・ A種 ・ B種				
			屋内木部	・ B種	・ A種(鉄板・鋼板・鋼管等) ・				
			屋内鉄鋼面	・ B種	・ A種 ・ B種				
			屋内亜鉛めっき面	・ B種	・ A種 ・ B種				
		・ 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り(EP)	コンクリート面	・ B種	・ A種 ・ B種				
			モルタル面	・ B種	・ A種 ・ B種				
			プラスター面	・ B種	・ A種 ・ B種				
			せっこうボード面	・ B種	・ A種 ・ B種				
		・ 合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り(EP-T)	屋内コンクリート面	・ B種	・ A種 ・ B種				
			モルタル面	・ B種	・ A種 ・ B種				
			プラスター面	・ B種	・ A種 ・ B種				
			せっこうボード面	・ B種	・ A種 ・ B種				
		・ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ・ オイルステイン塗り(OS)	木部	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種				
			木部	表7.13.1による。塗料(・油性 ・水性)					
		・ 木材保護塗料塗り(WP)	木部	・ A種	・ B種	・ A種 ・ B種			
			木部	・ A種	・ B種				
13 その他	2 トイレブース 《20.2.5》	形状及び寸法	・ 標準詳細図6 - による						
			・ 図示による						
		パネル表面材	・ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板						
		エッジ材質形状	・ アルミPEッジ ・						
		脚部材質形状	・ 幅本 (・ SUS304 ・)						
		・ 脚具 (・ SUS304 ・)							
		製造所：評価名簿による							
		・ 対人衝突防止表示	・ 図示による						
		・ 非常用進入口	・ 図示による						
		・ 案内板	・ 施設案内板 (・ 図示による)						
			・ 各階案内板 (・ 標準詳細図8 - - による ・ 図示による)						
			・ 視覚障害者用案内板 (・ 図示による)						
		⊙ 室名札	・ 標準詳細図8 - 43 - 1による W250×H50×D11						
			⊙ 図示による						
			・ 市販品 (製造所・品番)						
			・ 標準詳細図8 - - による						
		・ ピクトグラフ	・ JIS Z 8210による						
			・ 図示による						
			・ 市販品 (製造所・品番)						
			・ 切抜文字 (・ ステンレス製 ・ 黄銅製) ・ 箱文字 (・ ステンレス製 ・ 黄銅製)						
		・ 館名文字	字数 () 文字の大きさ (×)						
	4 表示 《20.2.10》								

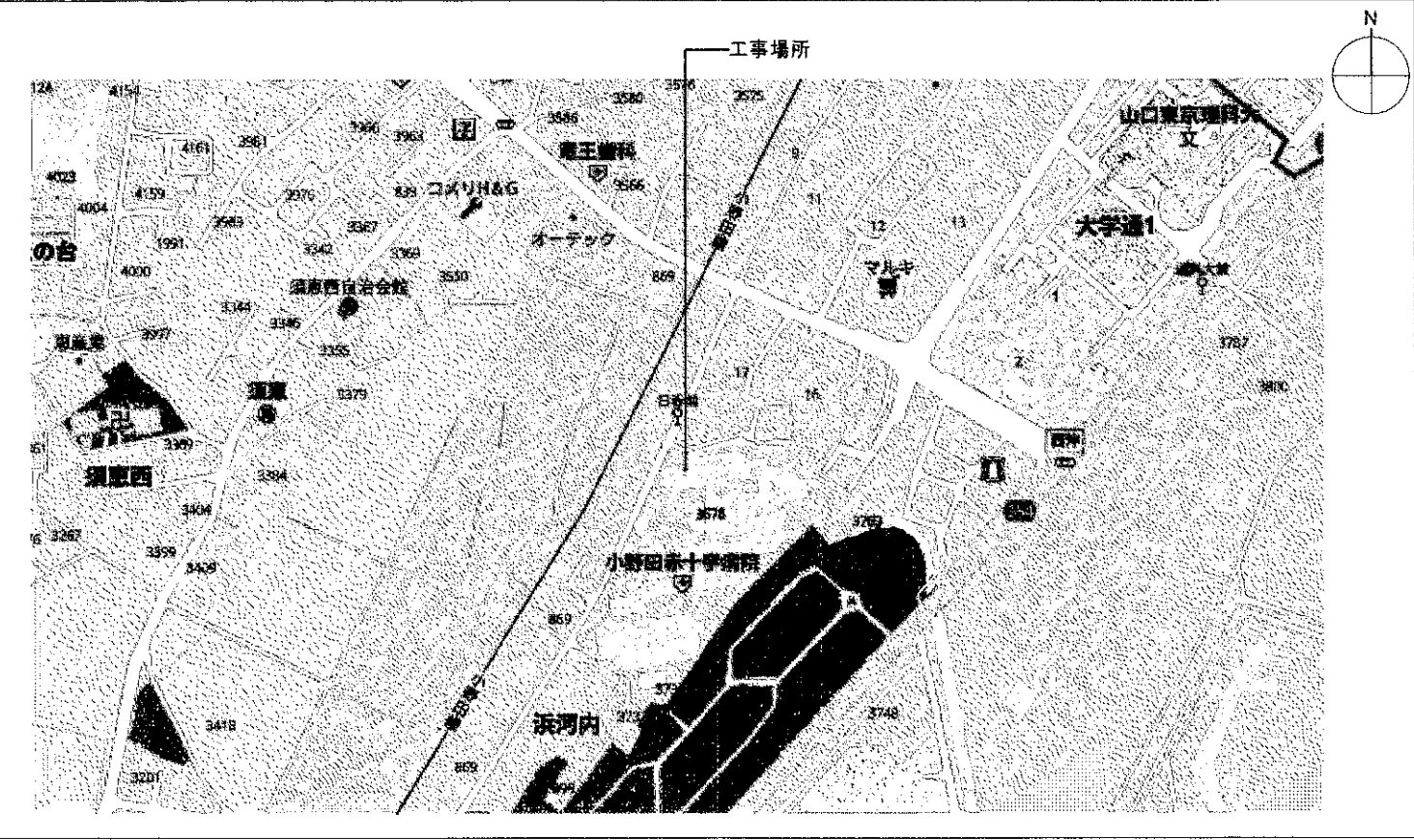
概要

1 工事名	工事名	小野田赤十字病院 1病棟改修(5床増床)工事	建築主氏名住所	
	工事場所	山口県山陽小野田市大字小野田3700番地	小野田赤十字病院	
	建物用途	基準法：病院・老人福祉施設（別表第2項）	山口県山陽小野田市大字小野田3700番地	
			TEL 0836-88-0221	
		消防法：6項一イ・ロ	工期	着手 完了
	工事種別	改修	2026/10/15	～ 2027/1/31

2 敷地状況	敷地面積	27,440.95 m ²	建蔽率	60%
	用途地域	都市計画区域内 第一種住居地域	容積率	200%
	防火地域	指定なし 22条地域		

3 構造・規模					
1病棟	構 造 鉄筋コンクリート造		階 数 2階建て+PH 1階		
	耐火性能 その他の構造		最高の高さ 9.50m		
	基 礎 直接基礎		最高の軒高 8.80m		
		1 F	2 F	PH F	合計
	1病棟床面積(渡り廊下含)	1,580.84 m ²	1,333.52 m ²	20.79 m ²	2,935.150 m ²
	1病棟改修部床面積	m ²	m ²	m ²	m ²

付近景取り図



外部仕上げ表

外部改修無し

改修前 内部仕上げ表

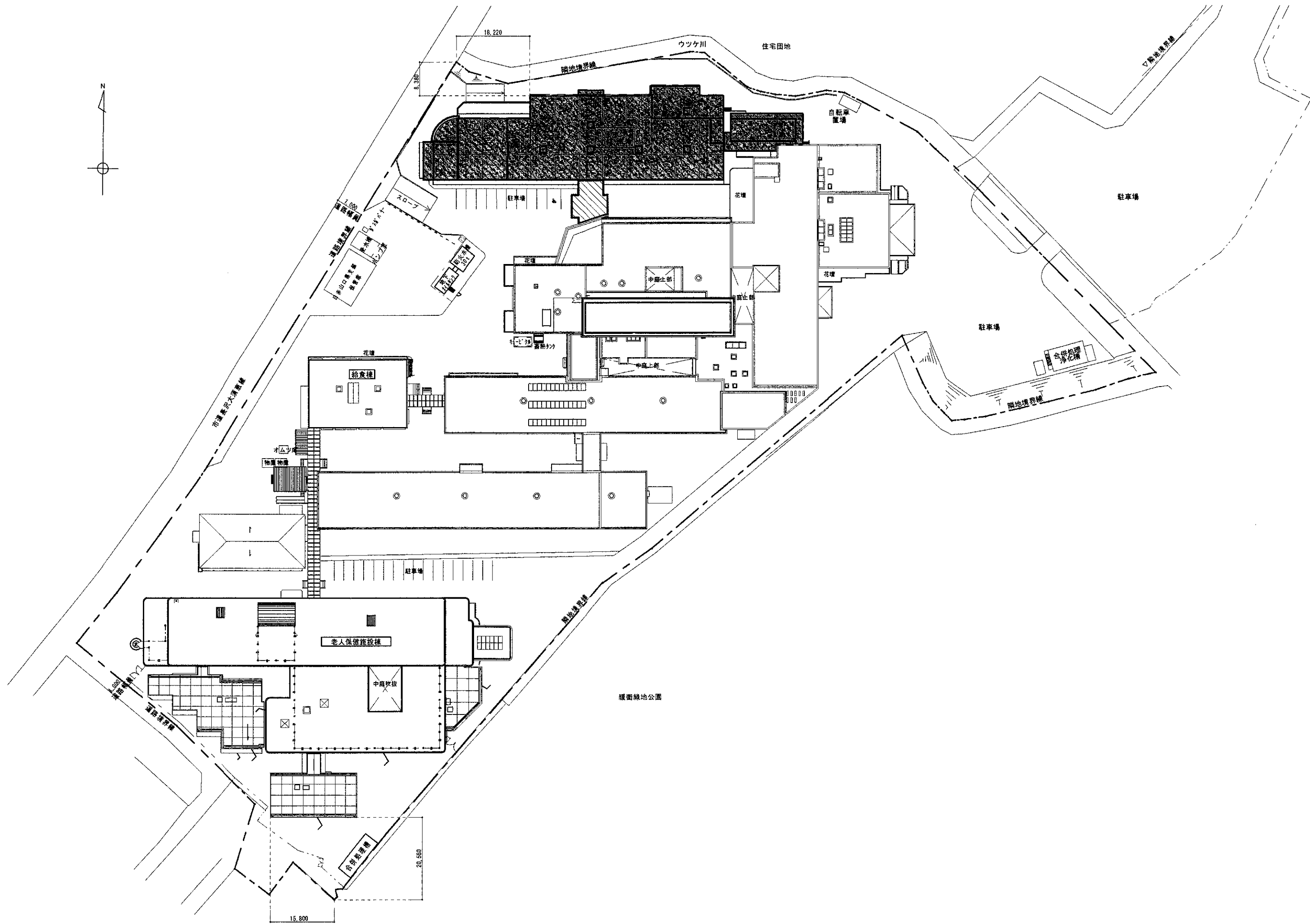
[illegible]

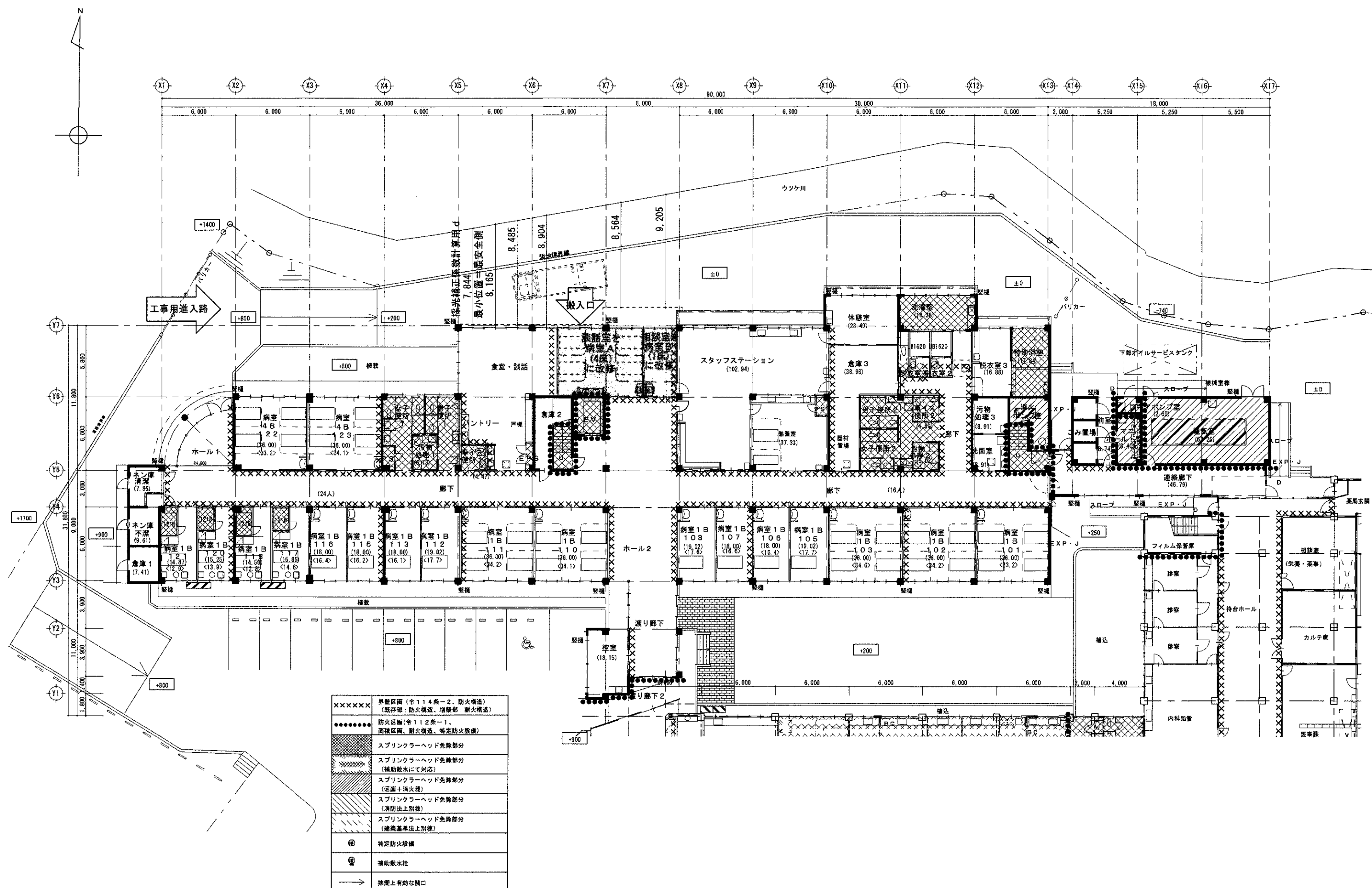
改修後 内部仕上げ表 ※内装仕上げ材はすべて F☆☆☆☆とする

改修後	階	室名	防火制限	床高低	天井高	居室		居室		居室		洗面・トイレ		備考				
						下地	仕上	巾	高さ	下地	仕上	下地	捨貼		仕上	見切縁		
	1	食堂・談話室 ハントリー	—	±0	2,600	RC	既存のまま	既存のまま	既存のまま 間仕切壁部分： ビニル巾木	350	RC LGS	既存のまま 間仕切壁新設部分： 強化PBt12.5二重張(両面) クランク#24kg/m ³ t50充填	既存のまま 間仕切壁新設部分： 準不燃ｸﾛｽ	既存のま ま	既存のまま 一部復旧部分： PBt9.5	既存のまま 一部復旧部分： 岩綿吸音板t9		
		病室A(4床) (旧食堂・談話室)	—	±0	2,600	RC	既存のまま	既存のまま 一部復旧部分： ビニルシートt2.8 東リSF707ー	既存のまま 間仕切壁部分： ビニル巾木	350	RC LGS	既存のまま 間仕切壁新設部分： 強化PBt12.5二重張(両面) クランク#24kg/m ³ t50充填 吉野石膏S12・W1同等品	既存のまま 間仕切壁新設 ・復旧部分： 準不燃ｸﾛｽ	LGS 新設		化粧PBt9.5新設		車いす対応洗面台新設 化粧鏡：移設設置 別途工事：カーテンレール、カーテン新設 (天井下がりはh450mm以上ネット・防災)
		病室B(1床) (旧相談室)	—	±0	2,600	RC	既存のまま	既存のまま	既存のまま	350	RC LGS	既存のまま 間仕切壁復旧部分(病室B側)： PBt12.5+ケイカル板t6	既存のまま 間仕切壁復旧部分： 準不燃ｸﾛｽ	LGS 新設		化粧PBt9.5新設		車いす対応洗面台新設 化粧鏡：移設設置 別途工事：カーテンレール、カーテン新設 (天井下がりはh450mm以上ネット・防災)

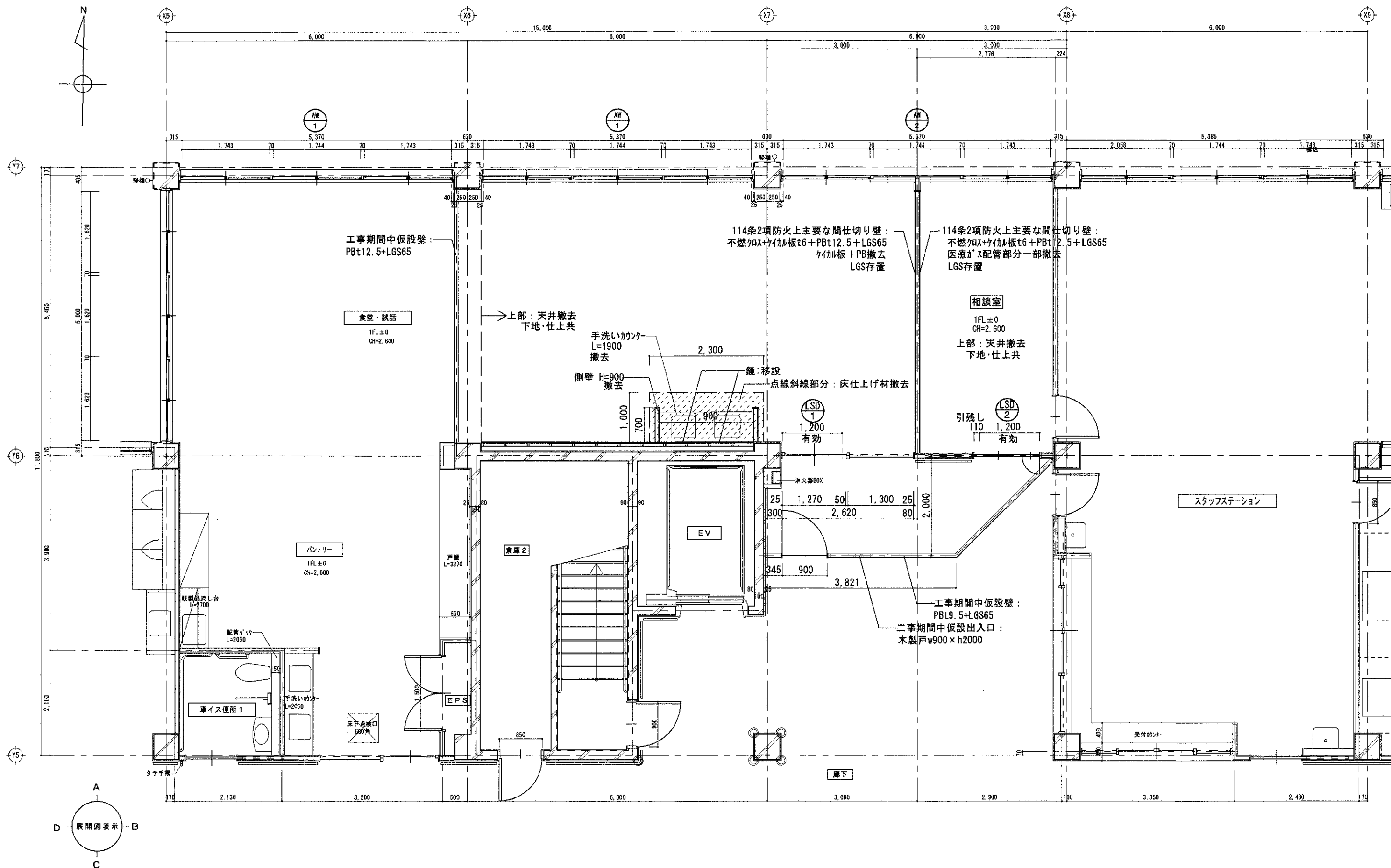
秀 総合設計 SYUO SONGHOUSEKKI	PROJECT 小野田赤十字病院 1 病棟改修(5床増床)工事	TITLE 工事概要書・仕上表 付近見取図	SCALE —	DESIGN Kurose	DRAWING Kurose	DATE ・ 2026.05.20 図面作製	No. A05
-----------------------------	------------------------------------	-----------------------------	------------	------------------	-------------------	---------------------------	------------

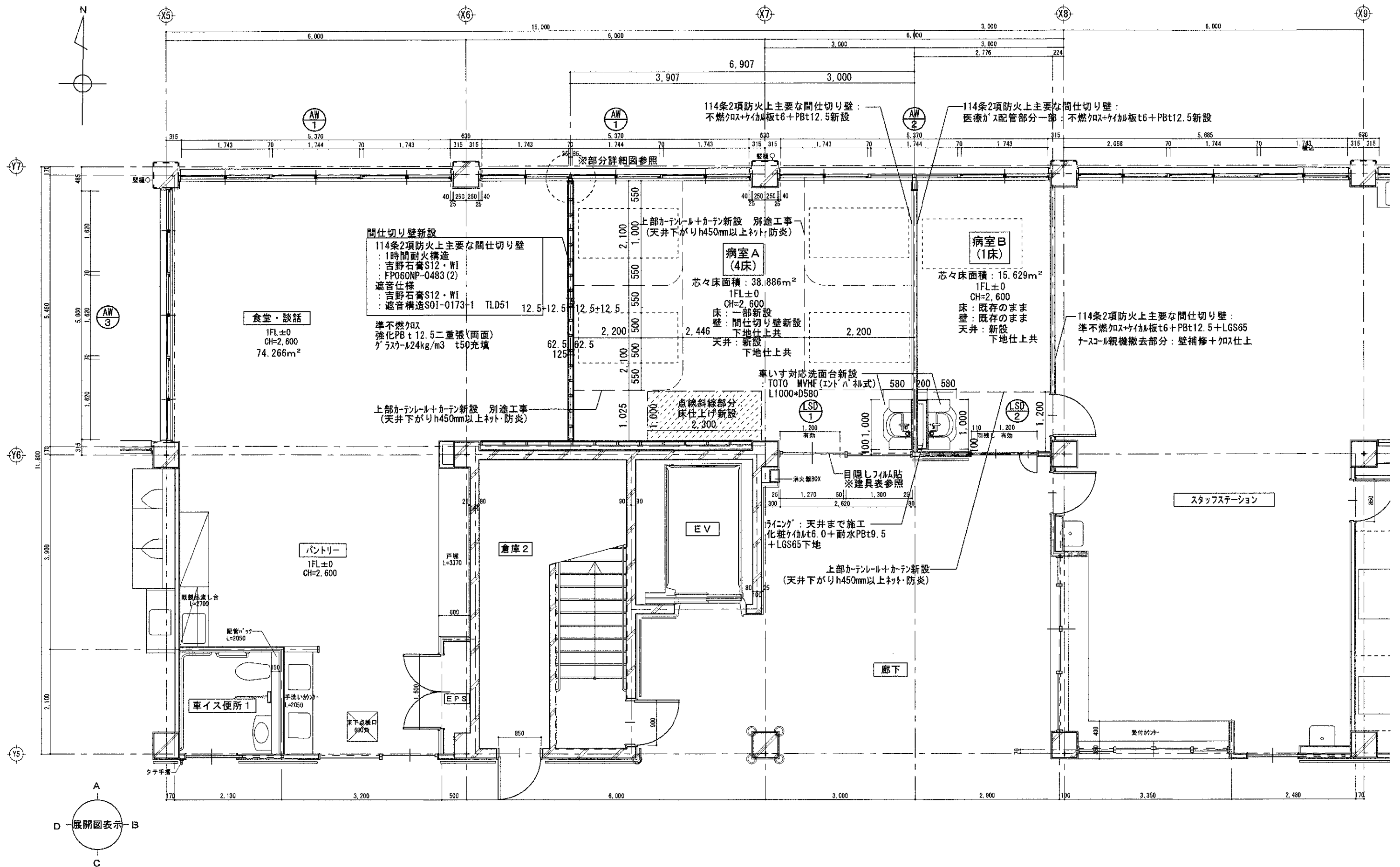
1 級建築士 第340588号 黒瀬幸雄

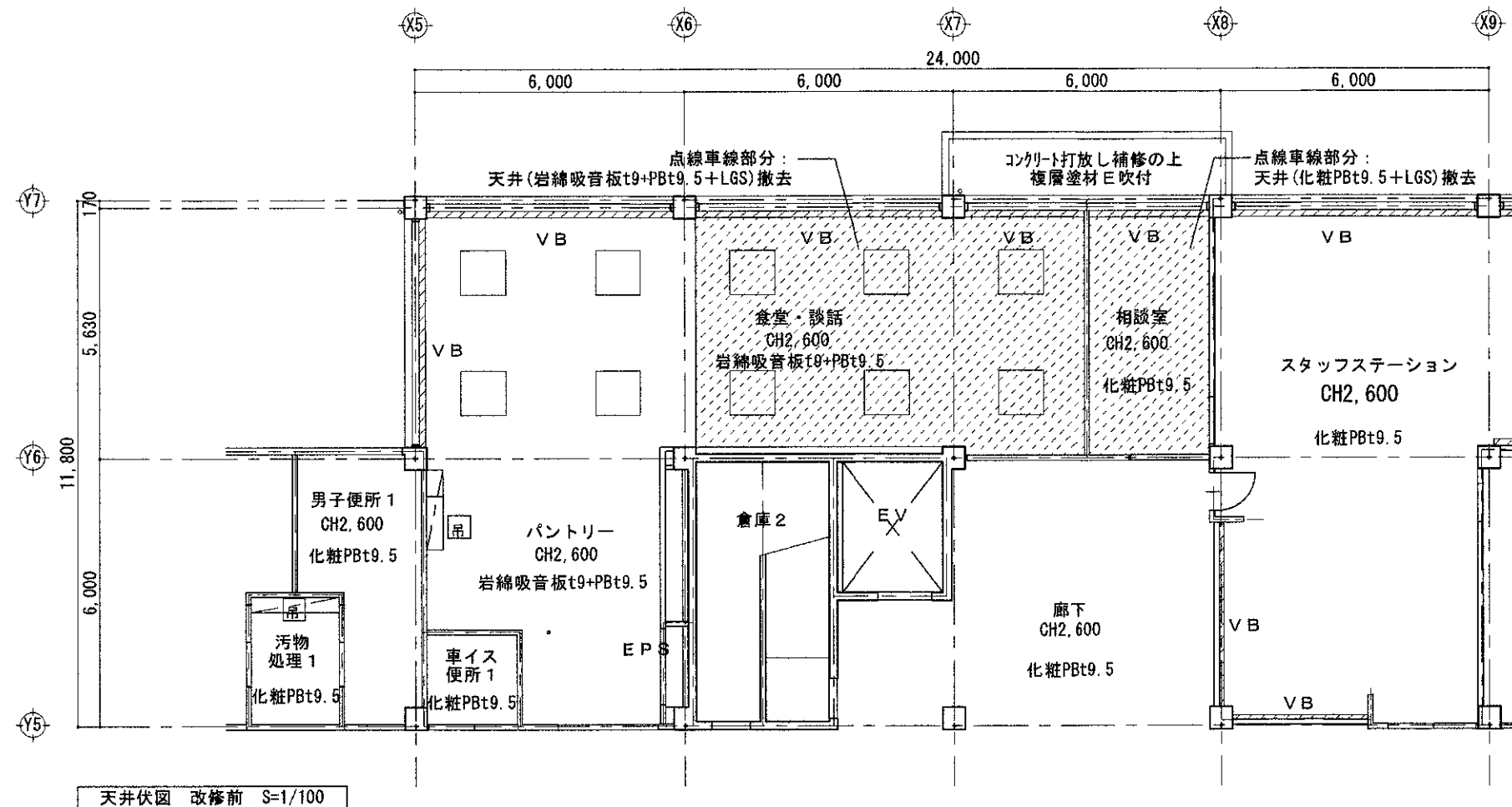




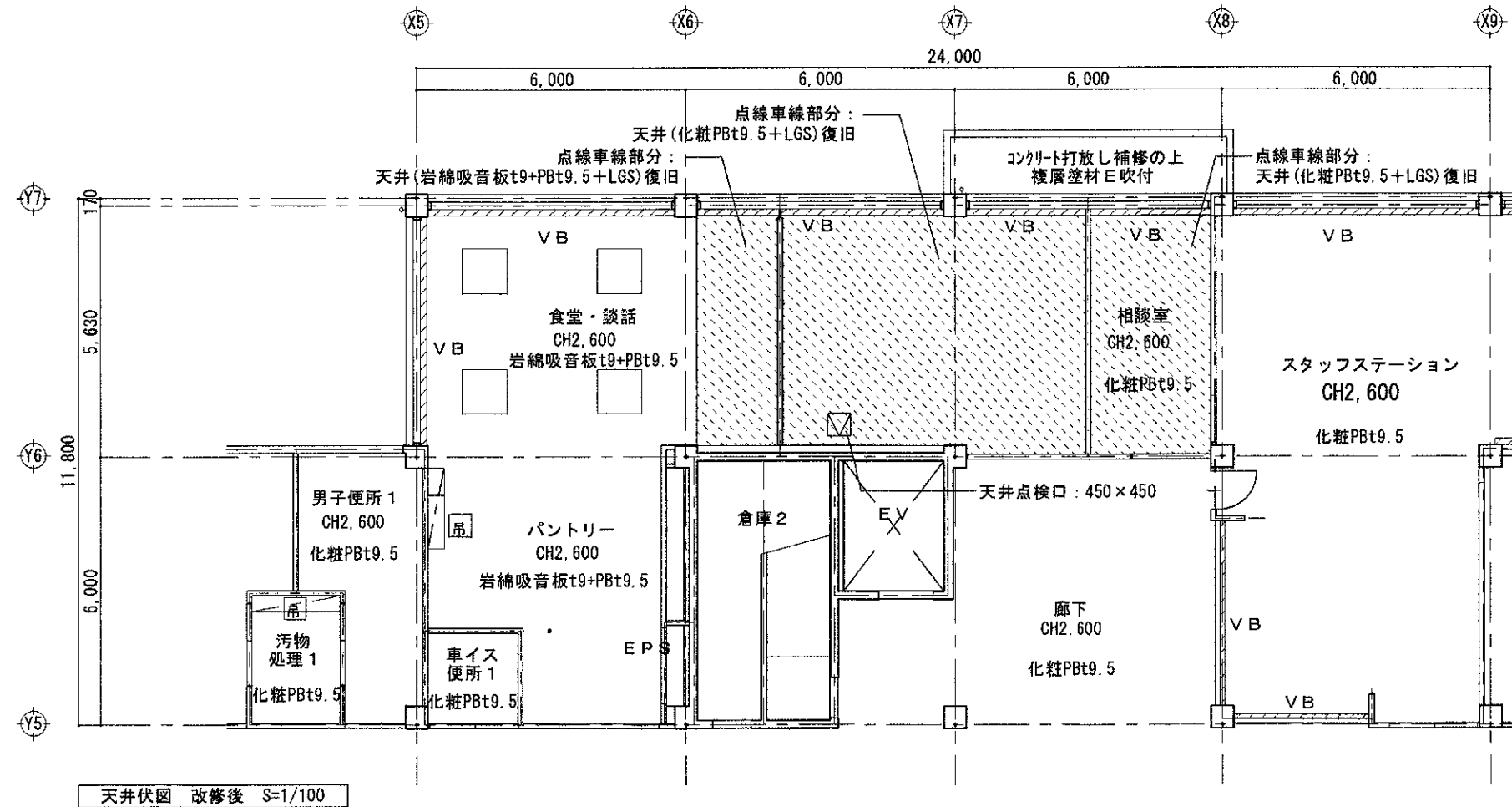
XXXXXX	境界区画 (令114条-2、防火構造) (既存部: 防火構造、増設部: 耐火構造)
.....	防火区画 (令112条-1、 面積区画、耐火構造、特定防火設備)
■	スプリンクラーヘッド免除部分
■	スプリンクラーヘッド免除部分 (補助放水にて対応)
■	スプリンクラーヘッド免除部分 (区画+消火器)
■	スプリンクラーヘッド免除部分 (清防法上別棟)
■	スプリンクラーヘッド免除部分 (建築基準法上別棟)
ⓑ	特定防火設備
㊦	補助放水栓
→	排煙上有効な開口



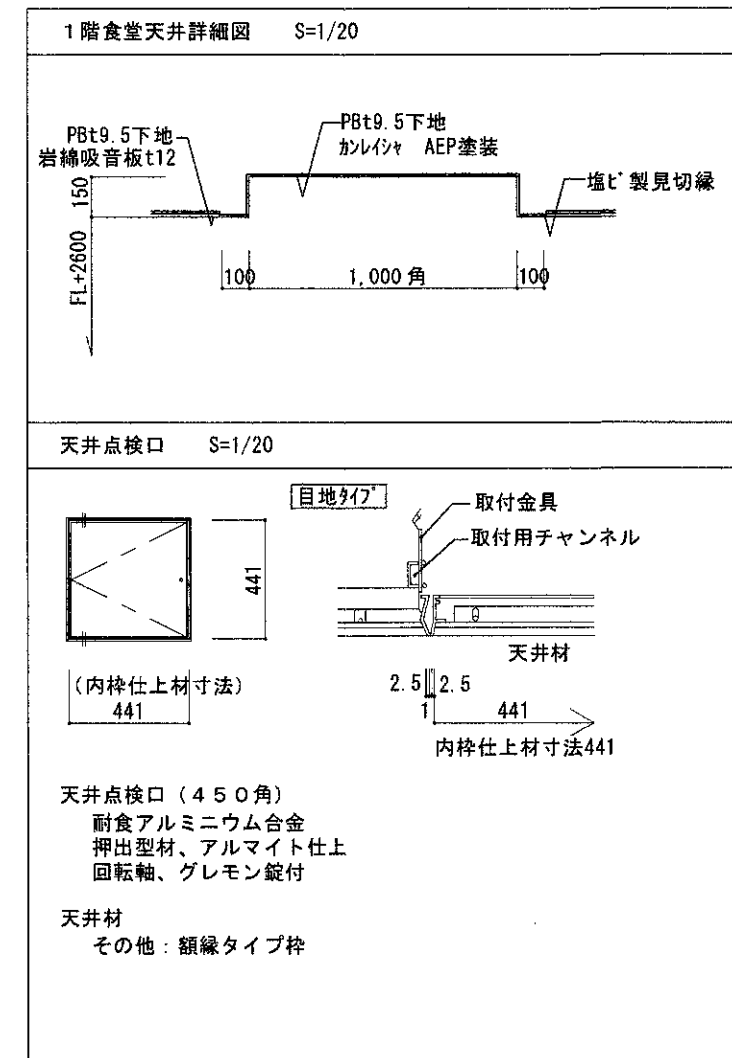


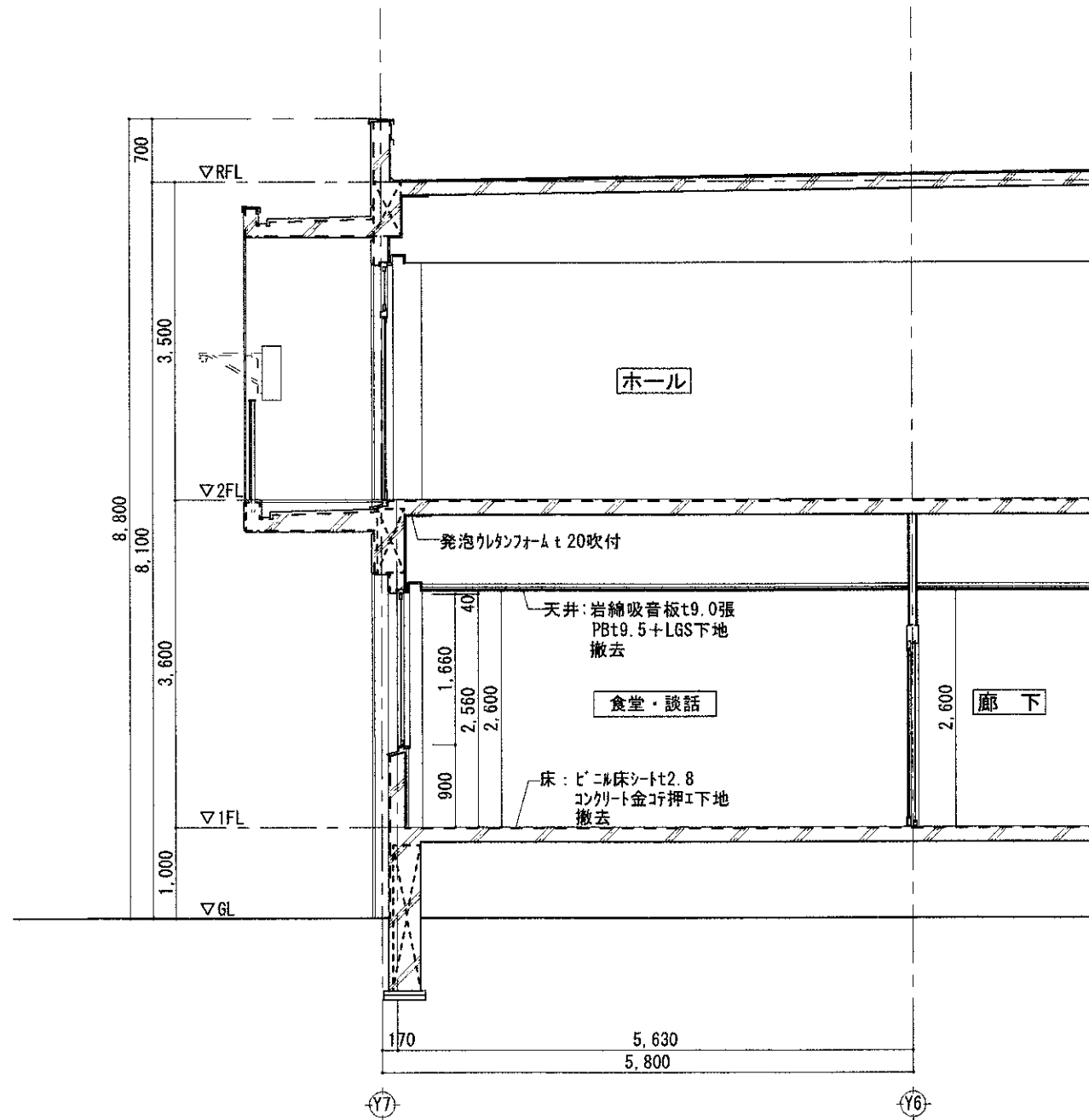


天井伏図 改修前 S=1/100

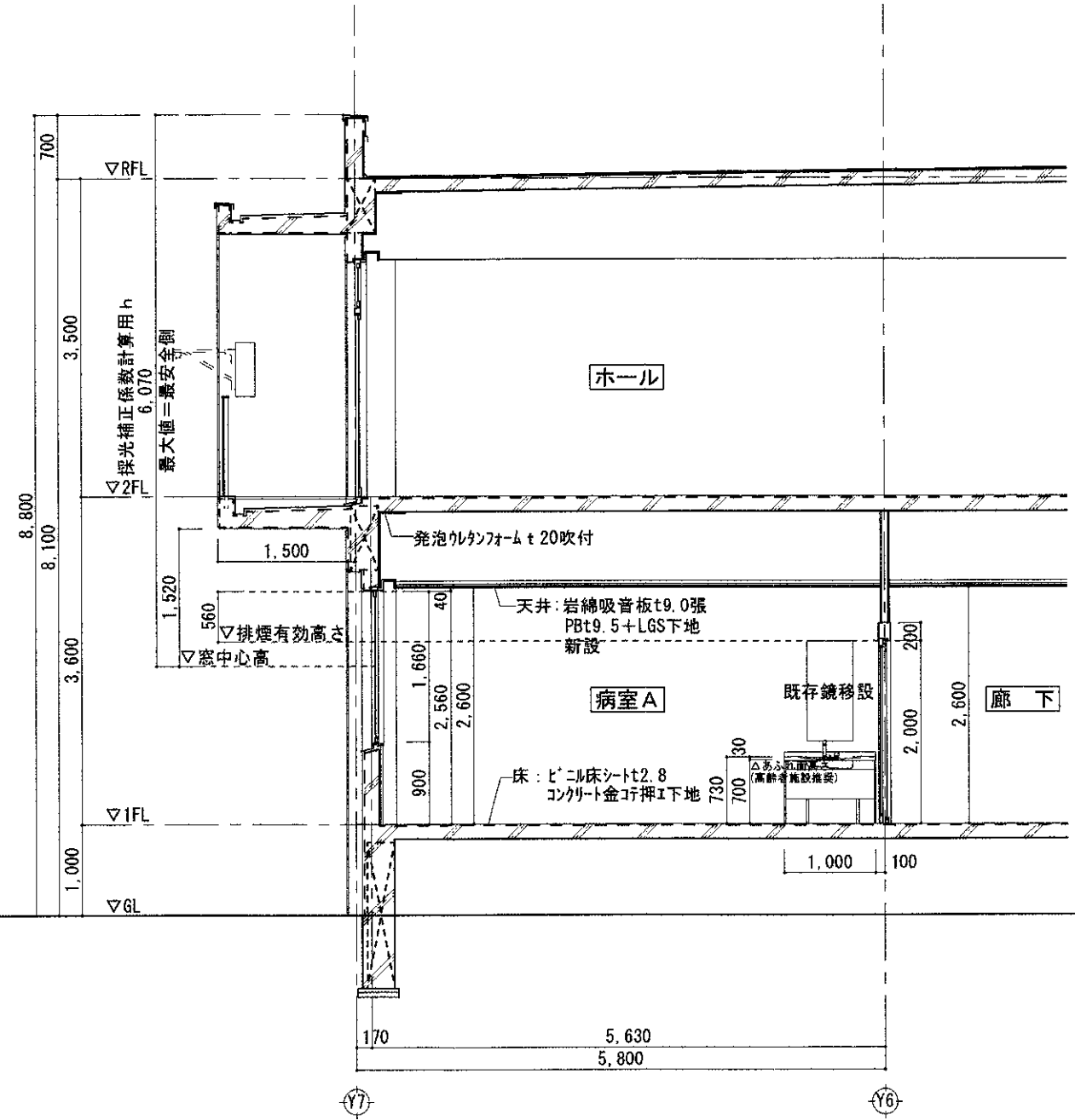


天井伏図 改修後 S=1/100





改修前 断面詳細図 S=1/50



改修後 断面詳細図 S=1/50

■改修後

符号	個数	場所	AW1	1	病室A(旧 食堂・談話室)	AW2	1	病室B(旧 相談室)	AW3	1	食堂・談話室	LSD1	1	病室A(旧 食堂・談話室)	LSD2	1	病室B(旧 相談室)
姿 図			※既存のまま			※既存のまま			※既存のまま			※既存のまま→目隠しフィルム貼			※既存のまま		
			▽天高			▽天高			▽天高			▽天高			▽天高		
			▽1FL			▽1FL			▽1FL			▽1FL			▽1FL		
種 類	見込	引違い窓	70			引違い窓＋F I X	70			引違い窓＋F I X	70			上吊式両引分け框戸	40 130		
仕 上		カラーアルミ				カラーアルミ				カラーアルミ				枠：スチールSOP、扉：化粧鋼板貼			
硝 子		F L－5				F L－5				F L－5				P D－4			
金 物		クレセント、附属金物一式				クレセント、附属金物一式				クレセント、附属金物一式				上吊式金物一式、C P、引手			
備 考		網戸、アルミ水切				網戸、アルミ水切				網戸、アルミ水切				目隠しフィルム：3M SH2EMCH シャモニー ファガラ(YM) ガラスフィルム同等品			

採光の検討 (A/7・10)										採光補正係数 $A = \frac{P}{h} \times \alpha - \beta$ $\alpha: 6、\beta: 1.4$ (住居系地域) 計算式	
室 名	室面積 (㎡)		必要面積 (㎡)	建具番号	W	H	ヶ所	A	計	判 定	
病食堂・談話室	74.266	1/10	7.427	AW-1	1.743	1.660	4	3.0	34.720	○ K	d：最小値＝最安全側 h：最大値＝最安全側 $A = \frac{7.84}{6.07} \times 6 - 1.4 = 6.34$ ∴A=3.0
病室A	38.886	1/7	5.555	AW-1 AW-2	1.743	1.660	3	3.0	26.040	○ K	
病室B	15.629	1/7	2.233	AW-2	1.743	1.660	1	3.0	8.680	○ K	

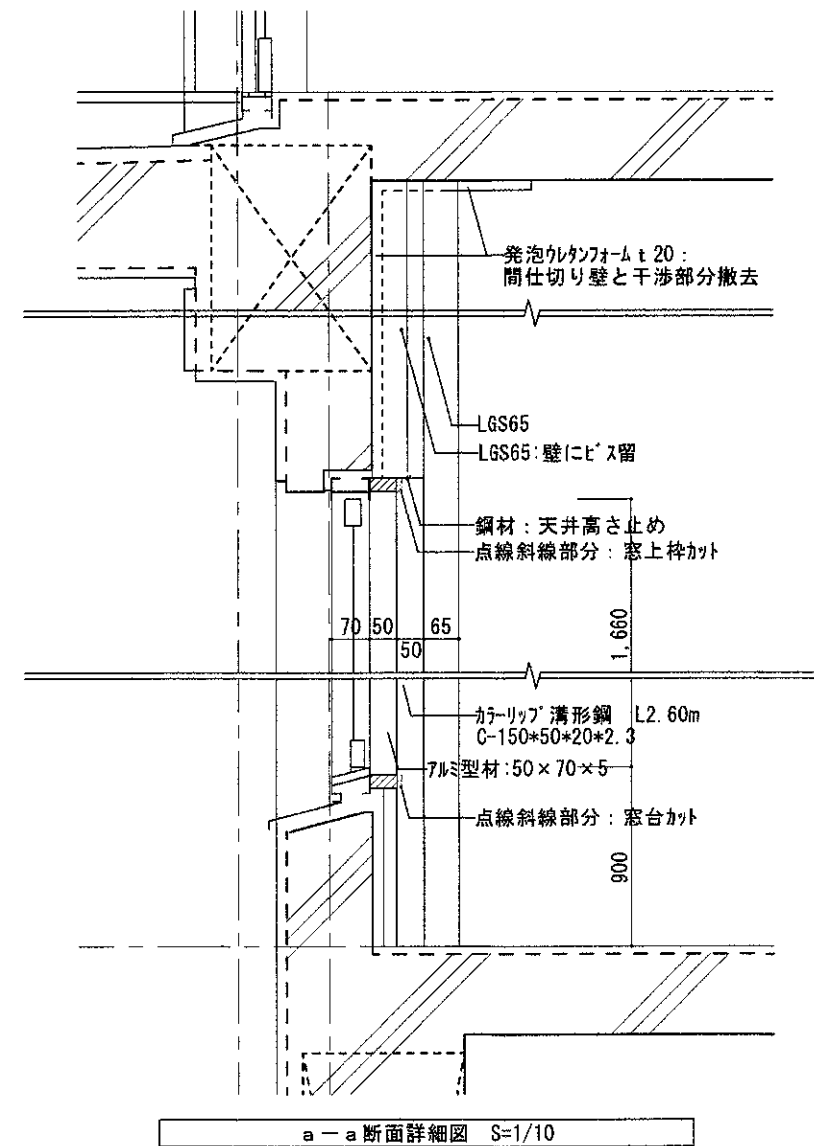
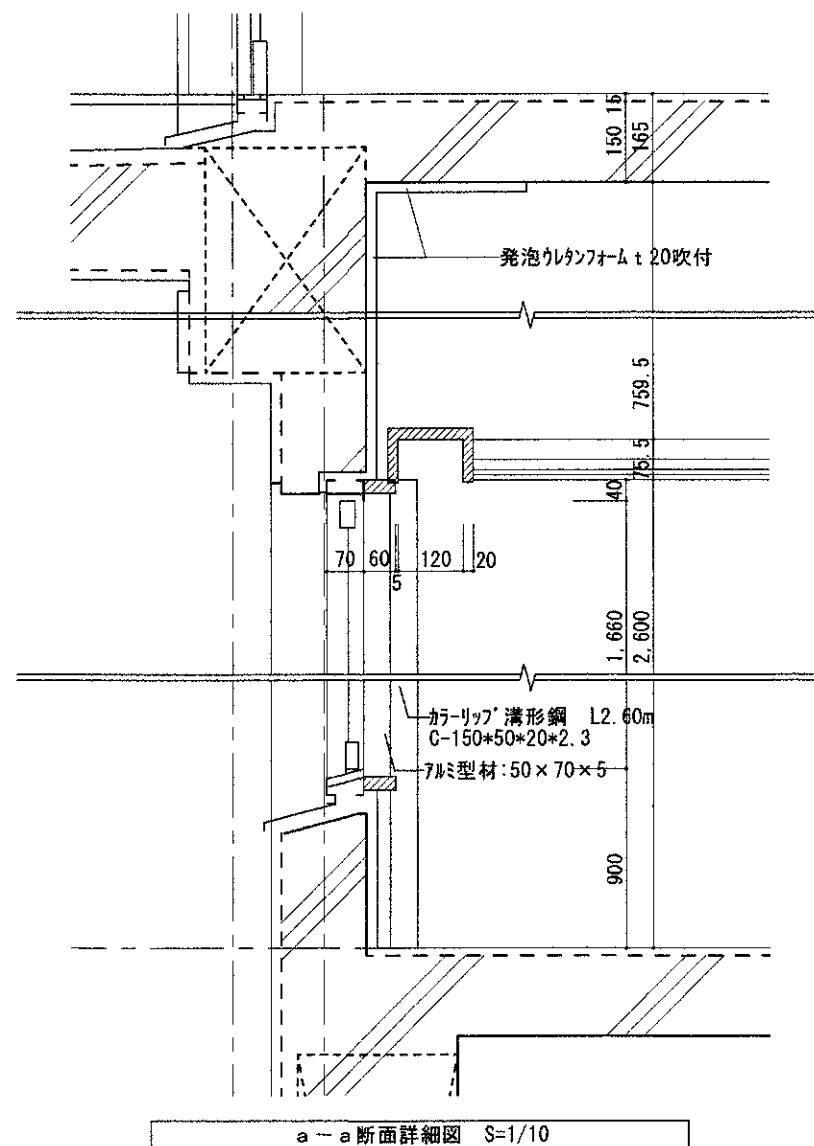
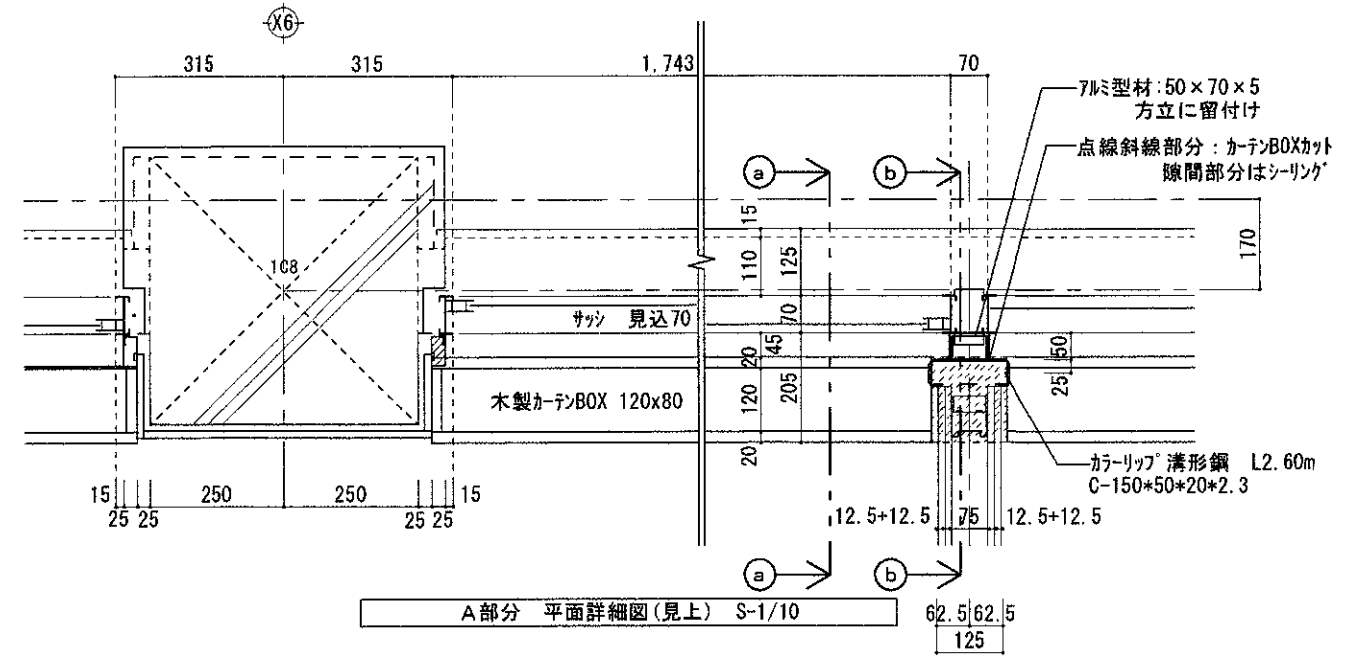
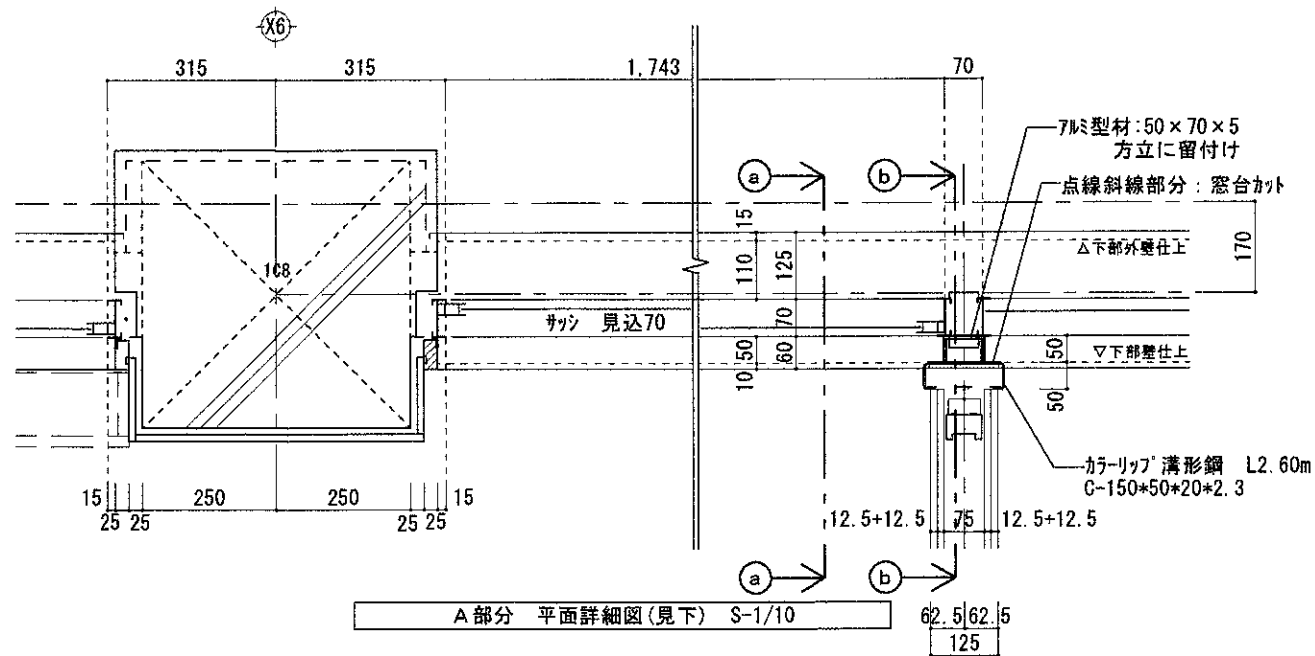
換気の検討 (A/20)											
室 名	室面積 (㎡)	必要面積 (㎡)	建具番号	W	H	ヶ所	小計	合計	判 定		
病食堂・談話室	74.266	3.713	AW-1	0.871	1.660	4	5.783	5.783	○ K		
病室A	38.886	1.944	AW-1 AW-2	0.871	1.660	3	4.337	4.337	○ K		
病室B	15.629	0.781	AW-2	0.871	1.660	1	1.445	1.445	○ K		

排煙の検討 (A/50)											
室 名	室面積 (㎡)	必要面積 (㎡)	建具番号	W	H	ヶ所	小計	合計	判 定		
病食堂・談話室	74.266	1.485	AW-1	0.871	0.560	4	1.951	3.311	○ K		
			AW-3	0.810	0.560	3	1.360				
病室A	38.886	0.778	AW-1 AW-2	0.871	0.560	3	1.463	1.463	○ K		
病室B	15.629	0.313	AW-2	0.871	0.560	1	0.487	0.487	○ K		

消防 無窓階の検討 (A/30)											
階	階面積 (㎡)	必要面積 (㎡)	建具番号	W	H	ヶ所	小計	合計	判定		
1 F	1,580.84	52.695	本改修工事において外部建具の変更なしのため、 既存図より有窓階。						有窓階		

法規チェックリスト建築基準法	
参考：2006年・平成18年新築時	
主要用途：病院、老人福祉施設（別表二項） 特殊建築物 耐火建築物 防火区画：面積区画＜1500㎡ 耐火構造壁、特定防火設備にて区画 スプリンクラー設置部分の床面積の1/2を区画面積から除く 階段、E V他は、堅穴区画とする。 ※区画を貫通するパイプ、ダクト類は令112-15.16項、 令129-2-5、告示1422号に基づき施工する。 これ以外は前後1mを不燃材巻きの上端で結めとする。 ダクトにダンパーを取付けた部分には、天井点検口を設ける。 建築物の界壁：防火上主要な間仕切壁を耐火構造 (LGSにPB12.5＋ケイカル板 t 6の両面貼) とし、スラブ下まで区画（新設部分）	
居室の採光：病室 1/7 食堂・談話室 1/10 換気：居室 1/20 排煙設備：自然排煙（排煙窓の手動バレーカー位置はFL+1500以下とする） 告示1436号、令126条の2-1適用 防煙区画≤500㎡ 排煙口までの距離≤30mとする 非常用照明設備：電池内蔵型照明器具を設置 (電気設備図参照) ※告示第34号適用 内装制限：スプリンクラー設置により免除 階段：屋内直通階段設置 (有効幅139.5cm≤120cm、蹴上17.4cm≥20cm、踏面26cm≤24cm) 歩行距離：60m以下、重複距離：30m以下 廊下幅：両側居室263cm≥160cm、片側居室236cm≥120cm	

消防法	
主要用途：老人福祉施設（別表一6項口）特定防火対象物 耐火建築物 有窓階：各階、有効開口を確保 有効開口：引違窓は片側を有効 1階固定窓は破壊作業用の足場があるので有効、 足場のない場合2階は無効 消火設備：消火器（ABC10型消火器設置）、大型消火器 スプリンクラー設備 警報設備：自動火災報知設備設置 避難設備：避難器具（2階 緩降機1ヶ所新設） 誘導灯設備 設置	



電気設備特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

山口県山陽小野田市大字小野田3700番地

2. 建物概要

No.	建物名	構造	階数	棟数	延面積 (㎡)	消防別表	工事区分
1	小野田赤十字病院	RC造	2	1	2,935.15	6項-I・D	・新築・全館修繕改修 〇執務並行改修
2							・新築・全館修繕改修 〇執務並行改修
3							・新築・全館修繕改修 〇執務並行改修
4							・新築・全館修繕改修 〇執務並行改修
5							・新築・全館修繕改修 〇執務並行改修

3. 工事種目

(〇印のついたものを適用し、各一式とする。)

工事種目	建物名称					工事種目	建物名称				
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
構内配電線路設備	・	・	・	・	・	構内交換設備	〇	・	・	・	・
受変電設備	・	・	・	・	・	情報表示設備	・	・	・	・	・
電灯設備	〇	・	・	・	・	映像・音響設備	・	・	・	・	・
動力設備	・	・	・	・	・	拡声設備	〇	・	・	・	・
電熱設備	・	・	・	・	・	誘導・管理設備	・	・	・	・	・
発電設備	・	・	・	・	・	テレビ共同受信設備	〇	・	・	・	・
電力貯蔵設備	・	・	・	・	・	監視カメラ設備	・	・	・	・	・
雷保護設備	・	・	・	・	・	火災報知設備	〇	・	・	・	・
構内通信線路設備	・	・	・	・	・	中央監視制御設備	・	・	・	・	・
構内情報通信網設備	・	・	・	・	・	テレビ電波障害防除設備	・	・	・	・	・
	・	・	・	・	・	ナースコール設備	〇	・	・	・	・

II 工事仕様

1. 共通仕様

図面および特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」(以下「標準仕様書」という)及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事)令和4年版」(以下「改修標準仕様書」という)、「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)令和4年版」(以下「標準図」という)、「JIL公共施設用照明器具(2025年版)」、「山口県電気設備工事施工監理要領(建築指導課作成)(以下「施工監理要領」という)」による。
URL参照：施工監理要領 (https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18800/eizen/eizen_youshiki.html)

2. 特記事項の適用方法

(1) 種目(設備)は〇印がついたものを適用する。
(2) 特記事項は〇印のついたものを適用する。・印は適用しない。
〇印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。〇印と※印のついた場合は、共に適用する。

種目	項 目	特 記 事 項												
一般共通事項	耐震性能	設計用標準水平震度(Ks) <table><tr><td></td><td>1階・地階</td><td>中間階</td><td>上層階等</td></tr><tr><td>・特定の施設</td><td>1.0(1.0)</td><td>1.5(1.5)</td><td>2.0(2.0)</td></tr><tr><td>・一般の施設</td><td>0.6(1.0)</td><td>1.0(1.5)</td><td>1.5(2.0)</td></tr></table> ()内は防震支持の場合に適用		1階・地階	中間階	上層階等	・特定の施設	1.0(1.0)	1.5(1.5)	2.0(2.0)	・一般の施設	0.6(1.0)	1.0(1.5)	1.5(2.0)
		1階・地階	中間階	上層階等										
	・特定の施設	1.0(1.0)	1.5(1.5)	2.0(2.0)										
	・一般の施設	0.6(1.0)	1.0(1.5)	1.5(2.0)										
	耐荷重及び耐外力	建築基準法に基づき定められた区分等 風速 (m/s) ※ 34 地表面粗度区分 (・ II ※ III) 垂直積雪量 ※ 0.3m (・) m												
	施工調査	※ 施工に先立ち改修工事関連部分の事前確認を行い、監督職員に報告する。 ※ 改修工事関連部分のアスベスト含有建材は事前調査を行い監督職員に報告する。 ・ 工事発注時アスベスト含有建材の有無 (※ 有 (・レベル1 ・レベル2 ※レベル3) ・無) ※ 撤去する照明器具がある場合は、PCBの有無を確認し、監督職員に報告する。 ・ 撤去する変圧器等の微量PCB分析を行う。(分析費用 ※ 本工事 ・ 別途)												
	発生材の処理等(1.3.9)	発生材の処理にあたっては、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設副産物適正処理推進要綱」、「建設廃棄物処理指針」、「入札条件及び指示事項」その他関係法令等に従い適切な処理を行う。 pHの測定方法 (※ 携帯式簡易測定器) 監督職員へモニエストと共にpHの測定結果の提示を行うこと。												
	建設発生土の処理	※ 構内指示の場所に敷き均し ・ 場外搬出処分 (※ 公共残土処分場 ・ 任意処分)												
	環境負荷	山口県グリーン購入の推進方針及びグリーン購入ガイド(最新版)に基づき材料の調達を行う。 (以下「グリーン購入による」という)												
	環境への配慮(1.4.1)	化学物質を放散させる建築材料等 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。 塗料は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。												
着工時の提出図書	工事請負契約書に定められたもののほか、次のものを監督職員の指示に従い着工時に提出すること。 ※ 工事用製本図面(工事用A2版) (5) 部 (縮小版A3版) (0) 部													

施工計画書等(1.2.2)

総合図
電気主任技術者
電気保安技術者(1.3.2)
工事写真・完成写真

完成時の提出図書
(1.7.1)

施工図

その他工事との取り扱い

※ 工事の着手に先立ち、総合施工計画書を作成し監督職員に提出する。
※ 監督職員の指示する工種別の施工計画書を作成し、監督職員に提出する。
※ 品質計画については施工計画書に必ず記載すること。
総合図の作成 ※要 ・ 不要
・ 発注者で選任する。(経産省への届出資料作成等は本工事に含む) ※不要
※ 電気工作物にかかる工事においては、電気保安技術者をおく。
下記のものを監督職員に提出する。

分類・規格	撮影場所	部数	備考
※ カラー	※ サービス版相当	適宜	1部 電子データ共

※ 電子データの提出方法については「工事完成図書」の電子納品要領」及び「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」による。
工事写真の撮影及び整理方法は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編」「営繕工事写真撮影要領(最新版)」及び「デジタル工事写真の小黑板情報電子化基準」による。
※ 完成図書は、A4版縦表紙次の部数提出する。
・ 学校工事 1部 〇その他工事 2部 (・ 自然保護課関係工事 3部)
詳細は、施工監理要領によるほか監督職員の指示による。
※ 竣工図(修正した設計図の二つ折製本図面)を次の部数提出する。
・ 学校工事 2部 〇その他工事 2部 (・ 自然保護課関係工事 4部)
詳細は入札条件及び指示事項書による。
※ 竣工図のCADデータをメディア等で1部提出する。
施工図の二つ折製本 (・ 要 (部) ・ 不要)
施工図のCADデータ (・ 要 ・ 不要)
なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
イ) 図面特記のない場合、下表による。
ロ) 他工事との取り扱い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

他工事との取り扱い	建築	電気	機械
鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備(埋込盤、プルボックス、ダクト、配管等)の仮付、箱入れ及び貫通スリーブ	開口部補強	※	・
	電気のスリーブ等	・	※
	機械のスリーブ等	・	※
埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井ボード類の切込み及び下地補強	切込み及び補強	※	・
	電気墨出し	・	※
	機械墨出し	・	※
電気室、自家発電機室などの基礎及びピット(ふた含)	基礎及びピット	※	・
	電気墨出し	・	※
天井点検口		※	・
軽量鉄骨製のボックス取付用下地		・	※
機器類の吊りボルト用インサート	電気設備	・	※
	機械設備	・	※
機器類の取付け用アンカーボルト	電気設備	・	※
	機械設備	・	※
コンクリート基礎(外灯設備)		・	※
コンクリート基礎(機械設備機器類)	屋上設置	※	・
	屋内設置	・	・
	屋外設置	・	・
オイルサービスタンク防油堤		※	・
自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアヒンジ		※	・
OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	・
OAフロア・フリーアクセスフロア仕上材の切込み及び補強		・	※
外壁取付けガラリ		※	・
換気扇枠、アルミパネル開口(ストッパー取付を含む)		※	・
建築工事に含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側(電源)	・	※
	2次側(盤含む)	※	・
機械設備工事に含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側(電源)	・	※
	2次側(盤含む)	・	※
機械設備制御盤から別途盤類への渡り配管・配線の接続		・	※
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管		・	※
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線		・	・
エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付		・	・
エアコンの室内、室外ユニット間の渡り配線(アースとも)		・	・
換気機専用スイッチ本体(空調換気扇用、24時間換気用を除く)		・	・
換気機専用スイッチの配管・配線及びスイッチ取付		・	・
機械設備工事に含む遮断弁装置の操作器及び感知器の配管・配線		・	・
機械設備工事に含む電極の配管・配線		・	・
振音装置の埋込ボックス		・	・
電気開閉式大便器用洗浄弁の一次側電源の配管、配線		・	・
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ間の配管		・	・
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ間の配線		・	・
ガス給湯器等のアース配線		・	・
屋内、屋外雨水管		※	・

※ 下記の作業等においては作業主任者として技能講習修了者を選任する。(安衛規)
・ 足場の組立作業(565条) ・ 地山の掘削作業(359条) ・ 土止めの支保工作業(374条)
※ 下記の作業等においては作業指揮者を指名すること。(安衛規)
・ 高所作業車(194条) 〇停電作業(350条) ・ 危険物の取扱作業(257条)
※ 車両制限令第3条における一般的制限値を超える車両を通行させるときは、事前に道路法第47条の2に基づく通行許可証の写しを監督職員に提出すること。

工事表示板

仮設工事

仮設物

監督員事務所
工事用電力
工事用水
工事仮設

共通工事

構内設備
ケーブル
〇電灯
発電機

3. 機器取付高さ
機器取付高さは、下記を原則とする。

名 称	測 点	取付高 mm	名 称	測 点	取付高 mm
取引用計器	地上 ~ 中心	1,800~2,200	受信機割受信機(壁掛)	床上 ~ 中心	1,200
引込開閉器	床上 ~ 中心	1,500	分布型感知器	床上 ~ 中心	1,700
分電盤(住宅用を除く)	床上 ~ 中心	1,500	発信機	床上 ~ 中心	1,500
ブラケット(洗面器)	鏡 上	150	消火栓表示灯	床上 ~ 中心	1,900
ブラケット(階段踊場)	床上 ~ 中心	2,000~2,500	ベル	床上 ~ 中心	2,300
スイッチ(一般)	床上 ~ 中心	1,300	感知器(差動型)試験器	床上 ~ 中心	1,500
スイッチ(多目的便所)	床上 ~ 中心	1,100	呼出ブザー	天井下 ~ 中心	300
コンセント(一般)	床上 ~ 中心	300	押ボタン(屋外)	床上 ~ 中心	1,500
コンセント(台上)	台上 ~ 中心	200	押ボタン(屋内)	床上 ~ 中心	1,300
コンセント(土間)	床上 ~ 中心	600	呼出ボタン(多目的便所)	床上 ~ 中心	500
手元開閉器	床上 ~ 中心	1,500	復帰ボタン(多目的便所)	床上 ~ 中心	1,800
壁掛型制御盤	床上 ~ 中心	1,500	インターホン(壁掛)	床上 ~ 中心	1,400
表示灯	床上 ~ 中心	2,000~2,500	壁掛型時計	床上 ~ 中心	1,500
端子盤	床上 ~ 下端	700	子時計	天井下 ~ 中心	400
保安器ボックス	床上 ~ 下端	2,000	時報ブザー	天井下 ~ 中心	300
電話位置ボックス壁	コンセントに準ずる		警用音量調節器	床上 ~ 中心	1,300
テレビ端子	コンセントに準ずる		警用スピーカー	天井下 ~ 中心	400
			表示器	天井下 ~ 中心	400

※ 工事表示板は下図による。
建造共加入証、建設業の許可票、施工体系図、労災保険関係成立票、並びに石綿調査結果を見やすい箇所に掲げる。

※ 工事用材料置場、作業小屋、仮事務所等の仮設物は、あらかじめ仮設工事計画書を作成し、監督職員と協議のこと。
※ 別途工事 ・ 本工事 (㎡程度) ・ 備品など ()
構内既存の施設 ・ 利用できる (※有償 ・ 無償) ※利用できない
構内既存の施設 ・ 利用できる (※有償 ・ 無償) ※利用できない
仮設電話 ・ 要 ※ 不要 仮囲い・さく等 ・ 要 ※不要

※ A種、B種、C種は、銅板 900° t=1.5 とし、D種は、連結式接地棒とする。
〇既設利用(種類:C種) ・ 測定要)
※ 90mm×140mm×1mm以上の(※実銅板・SUS板)で指定文字を刻印で表示
※ 標準仕様書 第1編第2章第9節(表2.9.1)による。
・ 下記場所の露出金属製電線管は、指定色塗装とする。
・ 居室 ・ 倉庫等 ・ 機械室等 ・ EPS、DS
※ P F 管の使用は原則として (1 6) 及び (2 2) とする。
※ 樹脂製 ・ ステンレス製 〇新金属製
※ 器具を塗装しないものについては用途を明示する。
※ 標準仕様書による。
※ 標準仕様書による。(監督職員に書面による報告を行うこと。)
※ 標準仕様書及び改修標準書による。(監督職員に出来形管理図による報告を行うこと。)
※ 接着系あと施工アンカーを施工する場合は、以下の資格者が施工すること。
第1種あと施工アンカー施工士
第2種あと施工アンカー施工士(直径12mm以下のみ)
なお、接着系あと施工アンカーの施工後確認試験は、引張試験機による引張試験を行うこと。

※ 地中線路の場合マンホール、ハンドホール内で余長を見込む。(端部)
※ 管の上端10cm程度までは、真砂土または砂で敷き固める。
※ 高圧、低圧、通信の各線路ごとに埋設シート(2倍長)を敷設する。ただし、ハンドホールを共用するルートは優先度の高いものに統一できる。
※ 埋設管路のルートには、ハンドホール近辺に鋼鉄製埋設柱等で、方向、種別を標示する。
※ 要

※ 引掛けシーリング、埋込ローゼットの表ボックスは金属製とする。(耐荷重性)
※ 区画壁に設置するボックスは金属製とする。
※ 外壁に打ち込むボックスは結露防止型とする。
〇測定する場所：食堂・談話、病室B

・ 3 相 3 線 式 V KVAクラス
※ キュービクル型 (騒音 d B) ・ 開放型
※ 軽油 ・ A重油
・ 銅板製 ・ SUS製 容量： L
・ 本工事 ・ 別途工事 容量： L
※ 要
※ 製造者標準品一式
公称電力 kW

秀 総合設計
syuu sougougekkei

PROJECT
小野田赤十字病院 1 病棟改修(5床増床)工事

TITLE
電気設備特記仕様書

SCALE
NON
A2: 図寸 A3: 図縮小

DESIGN
Kurose

DRAWING
Kurose

DATE
・ 2026.05.20 図面作製

No.
E01

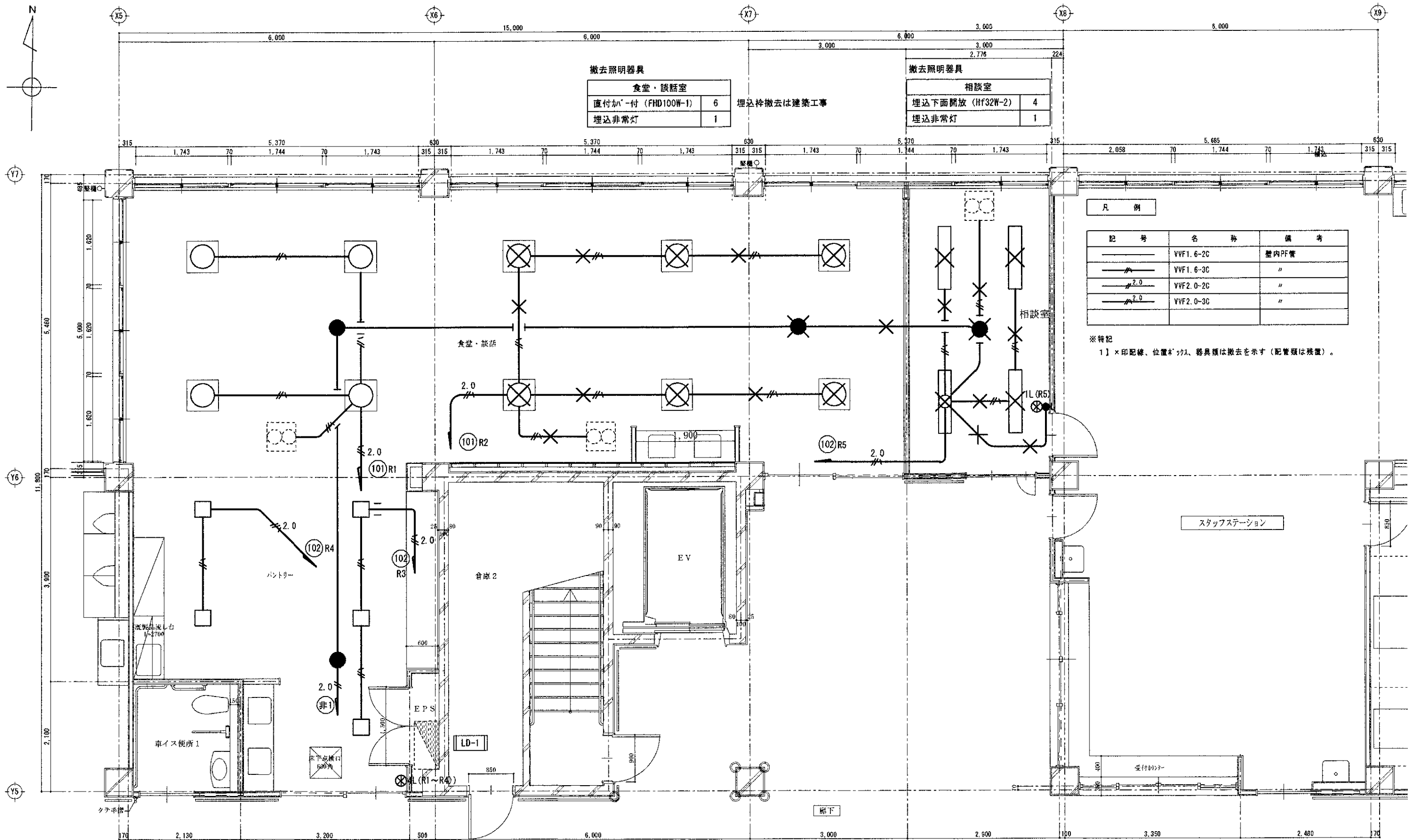
1 級建築士 第340568号 黒瀬肇雄

電 気 設 備 機 材 等 指 定 表

品目	機材名	適用範囲	製造業者等名
LED照明器具 (一般屋内用)			一般社団法人 公共建築協会 発行の、建築材料・設備機材等 品質性能評価事業 設備機材等 評価名簿（電気設備機材・機械 設備機材）令和6年版による。
高圧機器	高圧交流遮断器 高圧進相コンデンサ 高圧限流ヒューズ 高圧負荷開閉器 高圧変圧器(特定機器)		一般社団法人 公共建築協会 発行の、建築材料・設備機材等 品質性能評価事業 設備機材等 評価名簿（電気設備機材・機械 設備機材）令和6年版による。
蓄電池	据置鉛蓄電池 据置ニッケル・カドミウム750kWh 蓄電池 シールド型ニッケル・カドミウム750kWh 蓄電池		一般社団法人 公共建築協会 発行の、建築材料・設備機材等 品質性能評価事業 設備機材等 評価名簿（電気設備機材・機械 設備機材）令和6年版による。
交流 無停電電源装置	無停電電源装置	容量300kVA以下 (蓄電池を除く)	一般社団法人 公共建築協会 発行の、建築材料・設備機材等 品質性能評価事業 設備機材等 評価名簿（電気設備機材・機械 設備機材）令和6年版による。

品目	機材名	適用範囲	製造業者等名
盤類	高低圧受配電盤	同じ場所に高圧盤を設置する場合 (キュービクル型を含む)	一般社団法人 公共建築協会 発行の、建築材料・設備機材等 品質性能評価事業 設備機材等 評価名簿（電気設備機材・機械 設備機材）令和６年版による。 記載されている県内業者は ㈱オカダ電気 光和電業㈱ 摂陽明正㈱山口工場 上記のほか下記による ㈱アイテックス 新光電業㈱ 大楽電機㈱ 東光電機㈱ ㈱西日本テクノ
盤類	低圧配分電盤 制御盤	高圧盤を設置しない場合	一般社団法人 公共建築協会 発行の、建築材料・設備機材等 品質性能評価事業 設備機材等 評価名簿（電気設備機材・機械 設備機材）令和６年版による。 記載されている県内業者は ㈱オカダ電気 光和電業㈱ 摂陽明正㈱山口工場 上記のほか下記による ㈱アイテックス 新光電業㈱ 誠和工機㈱ 大楽電機㈱ ㈱中国電機サービス社 東光電機㈱ ㈱西日本テクノ
盤類	分電盤 操作盤(空調を除く) 端子盤		一般社団法人 公共建築協会 発行の、建築材料・設備機材等 品質性能評価事業 設備機材等 評価名簿（電気設備機材・機械 設備機材）令和６年版による。 記載されている県内業者は ㈱オカダ電気 光和電業㈱ 摂陽明正㈱山口工場 上記のほか下記による ㈱アイテックス 新光電業㈱ 誠和工機㈱ 大楽電機㈱ ㈱中国電機サービス社 東光電機㈱ ㈱西日本テクノ

[illegible]



撤去照明器具	
食堂・談話室	
直付カバー付 (FHD100W-1)	6
埋込非常灯	1

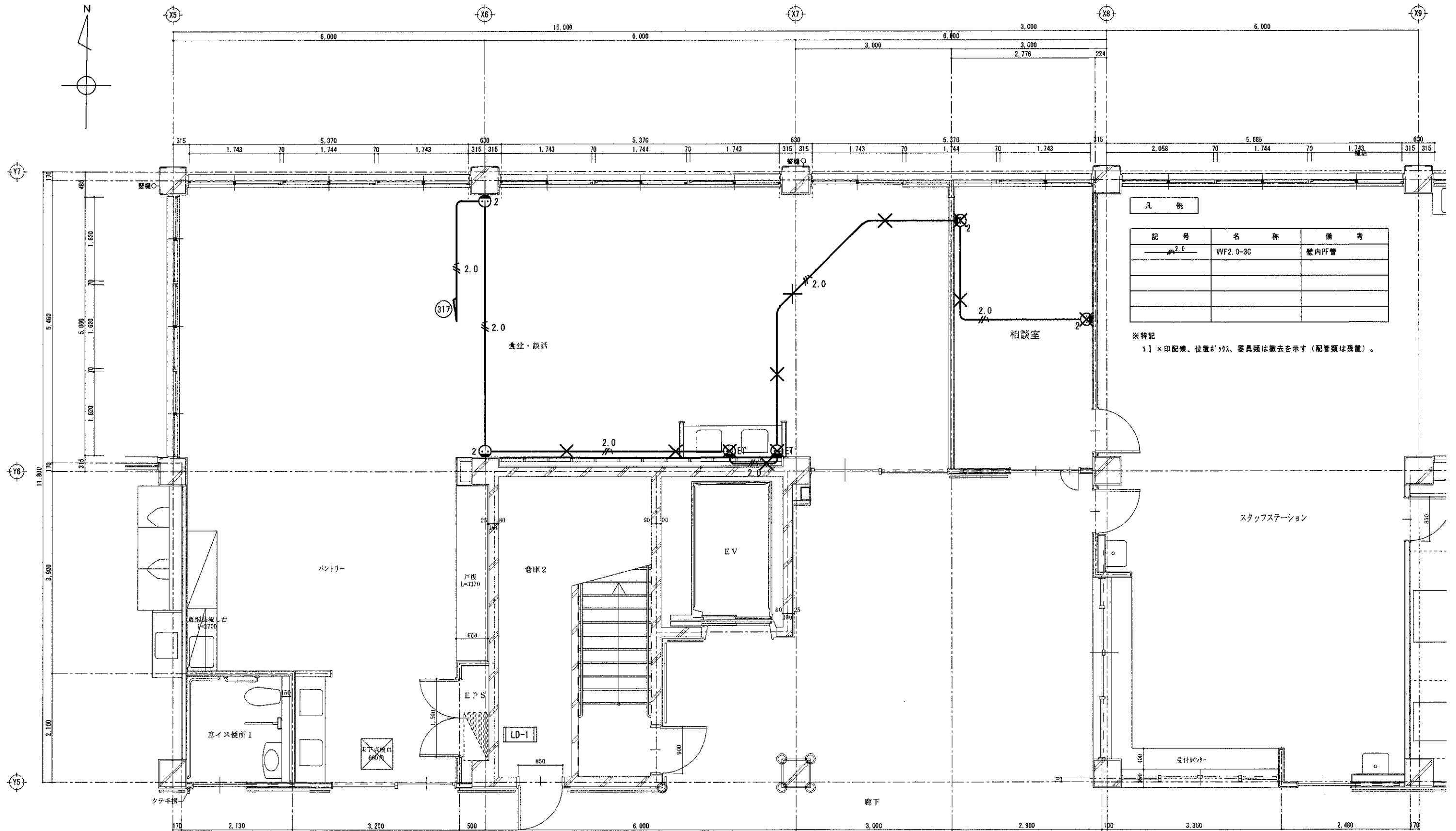
埋込枠撤去は建築工事

撤去照明器具	
相談室	
埋込下面開放 (Hf32W-2)	4
埋込非常灯	1

凡 例

記 号	名 称	備 考
	VVF1.6-2C	壁内PF管
	VVF1.6-3C	"
	VVF2.0-2C	"
	VVF2.0-3C	"

※特記
1) ×印配線、位置マーク、器具類は撤去を示す(配管類は残置)。

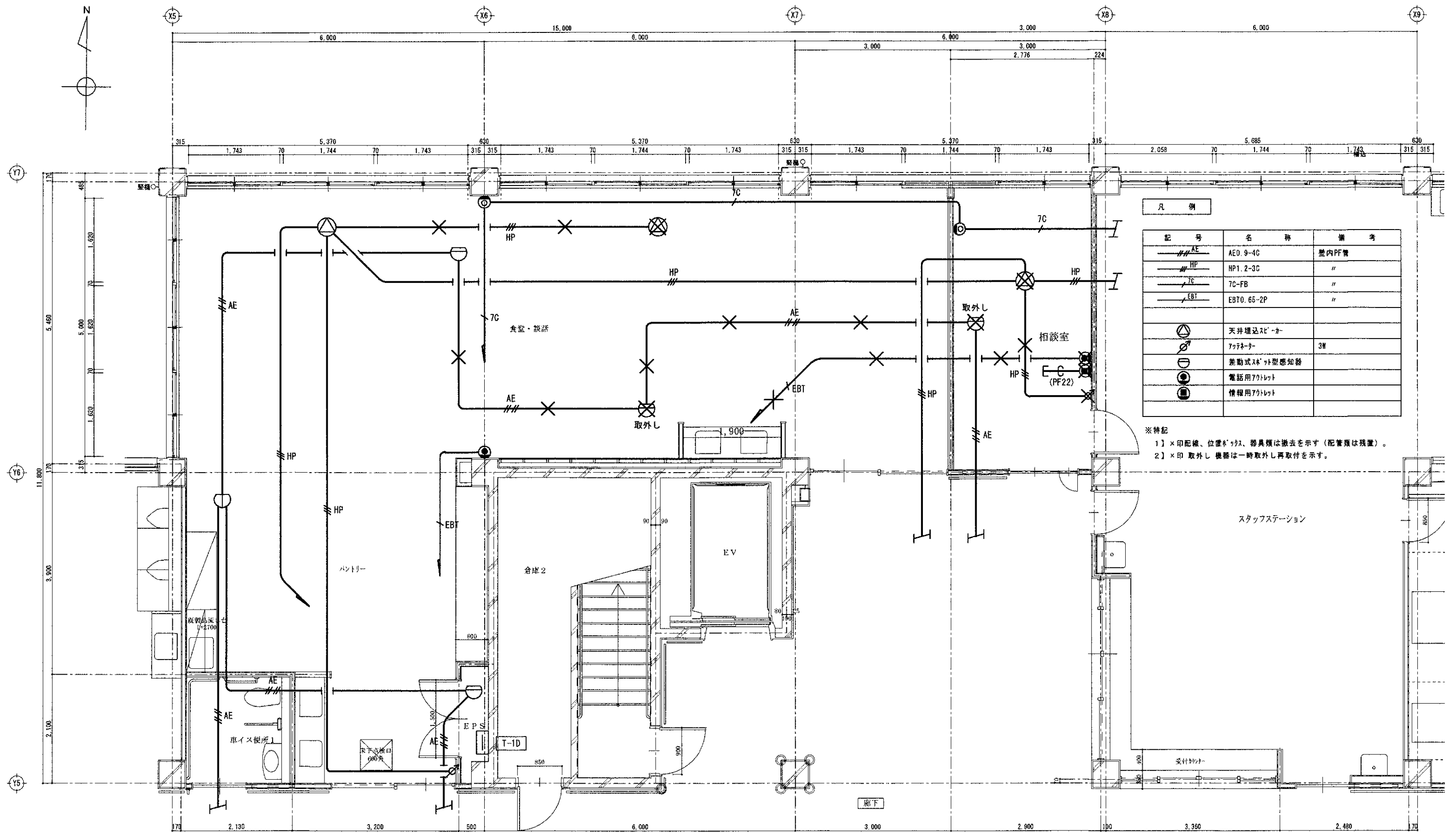


凡 例

記 号	名 称	備 考
— 2.0 —	VVF2.0-3C	壁内配管

※特記
11×印配線、位置が×は、器具類は撤去を示す（配管類は残置）。

スタッフステーション



凡 例

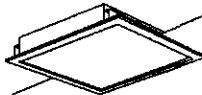
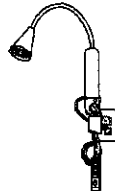
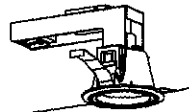
記 号	名 称	備 考
AE	AED. 9-4C	室内PF管
HP	HP1. 2-3C	"
7C	7C-FB	"
EBT	EBT0. 65-2P	"
天井埋込スローカー		
アッテナー		3W
差動式スモット型感知器		
電話用アクトレット		
情報用アクトレット		

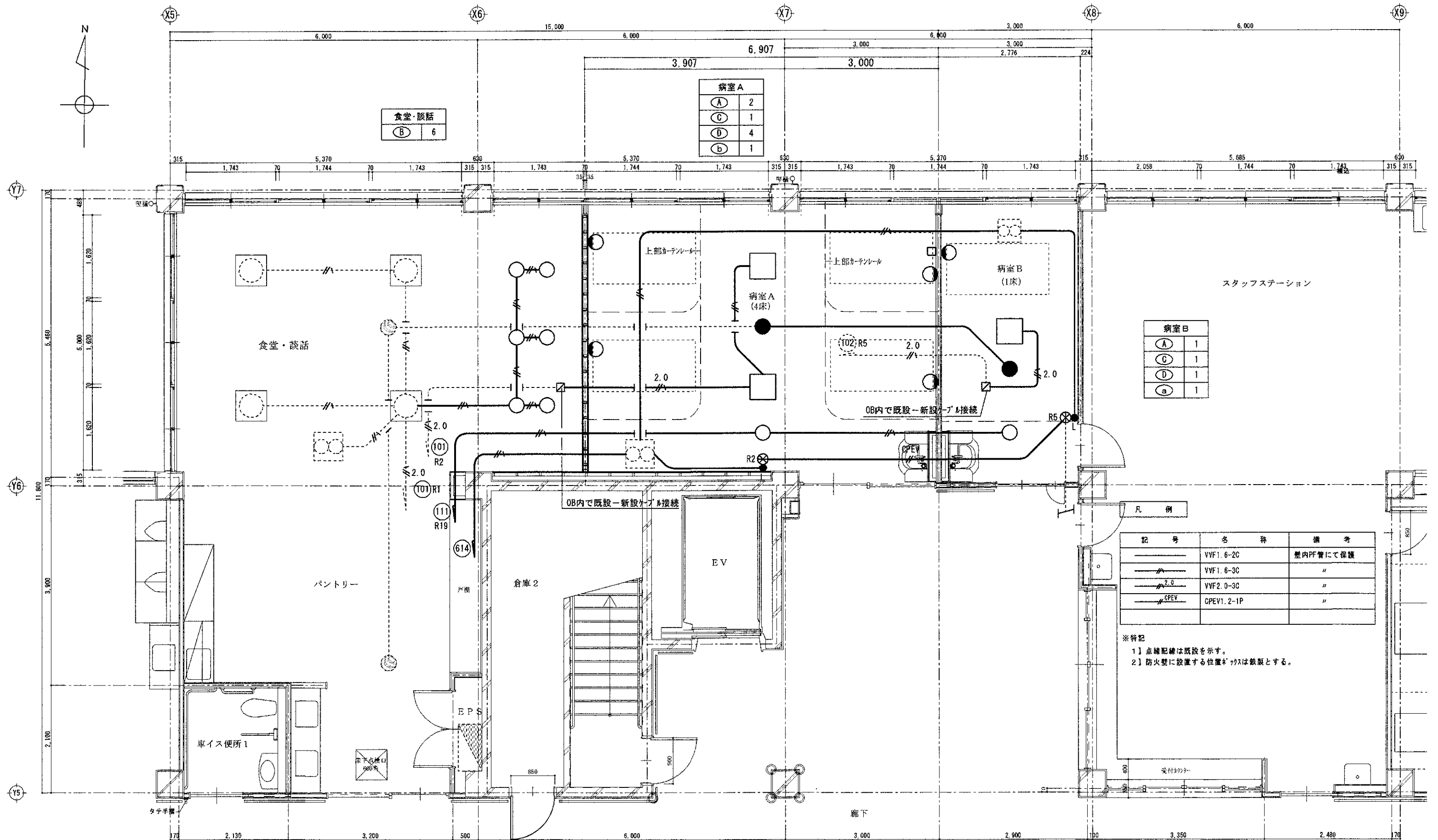
※特記
1) X印配線、位置マックス、器具類は撤去を示す(配管類は残置)。
2) X印 取外し 機器は一時取外し再取付を示す。

スタッフステーション

照明器具参考姿図

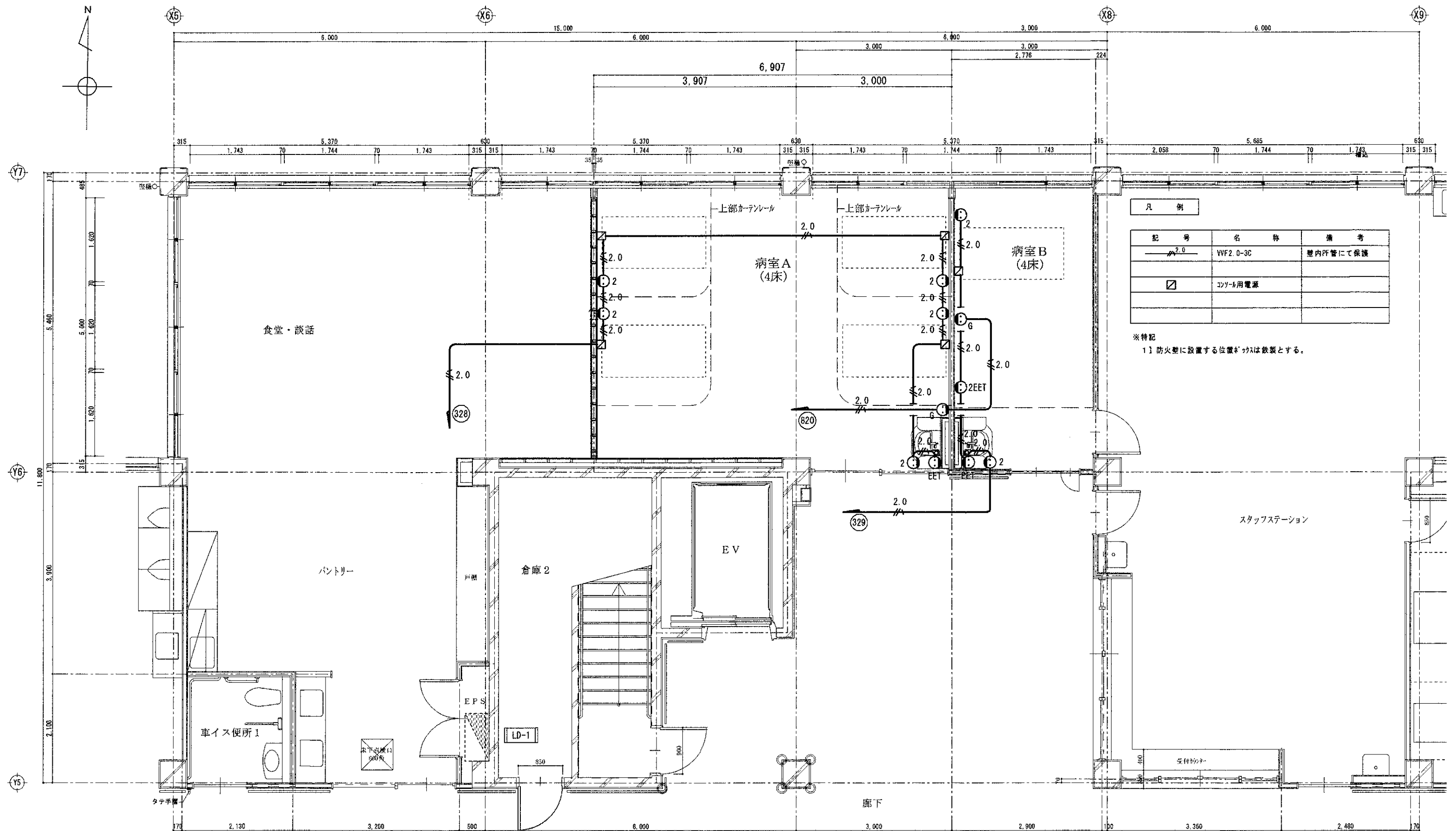
JIL以外参考型番はバナニックを示し同等品とする

					
		ペンダライト コンソール(機械工事)へ取付			
A	LRS9-6-84	LED960W・8470lm	D	NNF23610	LED4.5W・135lm
					
B	LRS1-13	LED11.6W・1695lm	a	K1-LRS11-1	LED1.0W・230lm
					
		常夜灯			
C	NNN60003S	LED0.5W	b	K1-LRS11-2	LED1.0W・370lm



凡 例		
記 号	名 称	備 考
	VVF1.6-2C	壁内PF管にて保護
	VVF1.6-3C	"
	VVF2.0-3C	"
	CPEV1.2-1P	"

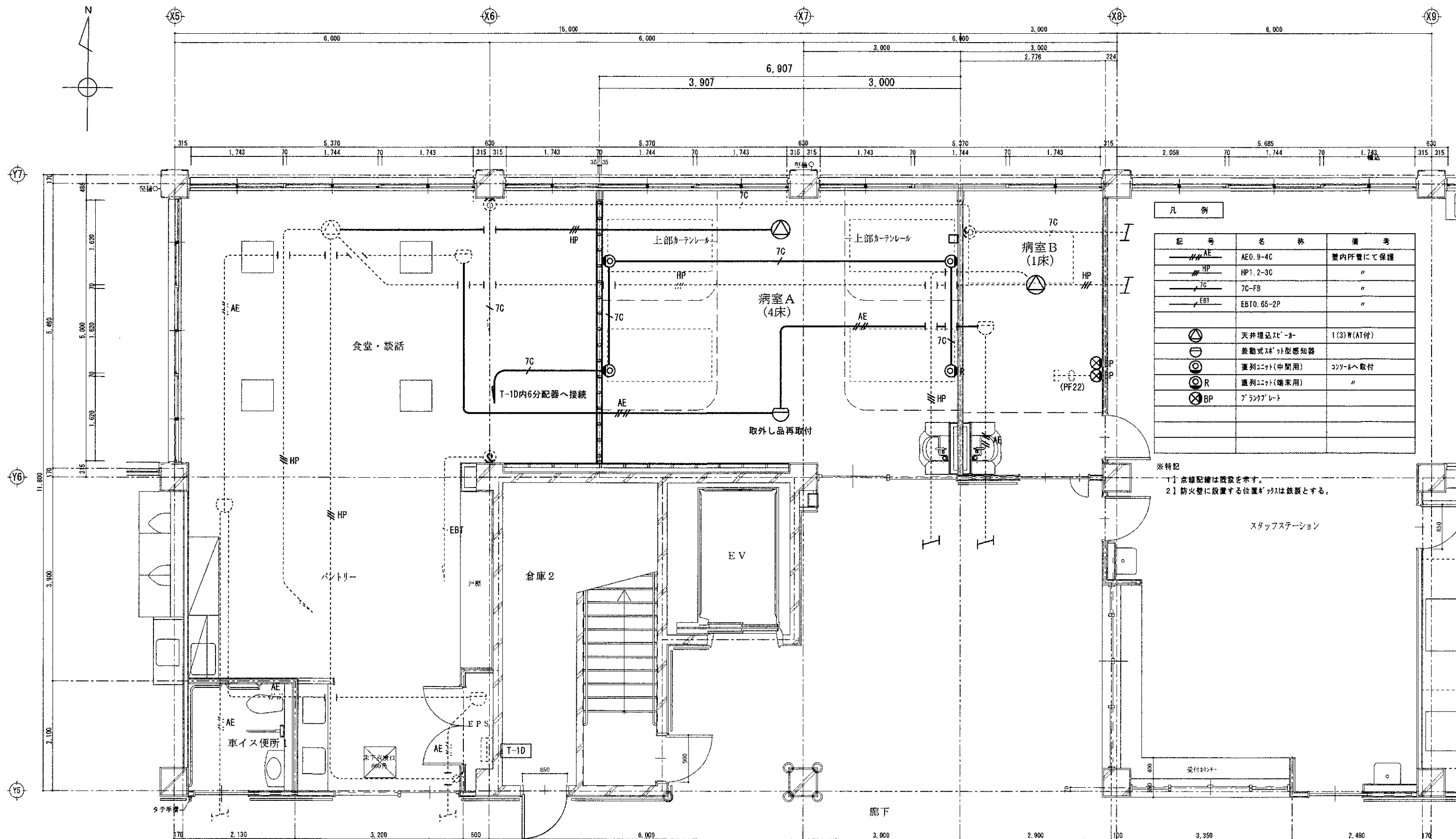
※特記
1] 点線配線は既設を示す。
2] 防火壁に設置する位置*は鉄製とする。



凡 例

記 号	名 称	備 考
	VVF2.0-3C	壁内配管にて保護
	コンパ用電源	

※特記
1) 防火壁に設置する位置がカスは飲製とする。



凡 例		
記 号	名 称	備 考
AE	AE0.9-4C	壁内PE管にて保護
HP	HP1.2-3C	"
7C	7C-FB	"
EBT	EBT0.65-2P	"
	天井埋込スピーカー	1(3)W(AT付)
	差動式漏電検知器	
	直列ユニット(中間用)	コンソールへ取付
R	直列ユニット(端用)	"
BP	ブラケット	

※特記
1) 点線配線は既設を示す。
2) 防火壁に設置する位置は鉄製とする。

スタッフステーション

11

保温

イ) 下記の倉庫・設備室等の配管、ダクトの保温は、屋内露出（一般居室、廊下）に読み替える。
・ 機械室 ・ ポンプ室 ・ 電気室 ・ 自家発電室 ・ 倉庫
ロ) 給湯管の下記施工箇所は、次に示す保温の種別を適用し、保温材はポリスチレンフォーム
保温材を硬質ウレタンフォーム保温材に読みかえる。
※ 地中埋設 d・(ハ)・Ⅶ
※ 屋外露出及び浴室、厨房などの多湿箇所 o・d2・(ハ)・Ⅶ
※ 暗渠内（ピット内を含む。） d・(ハ)・Ⅶ

22

塗装

陽べい部以外は塗装すること。
露出部分のビニル管はカラーVPとし、塗装を行わない。（屋内外とも）

33

防食処理

標準仕様書によるほかコンクリート内の鋼管（排水用を含む）はプラスチックテープを1/2重ね1回巻きとする。（但し外面樹脂被覆鋼管は除く）

44

着工時の提出図書

工事請負契約書に定められたもののほか、次のものを監査職員の指示に従い着工時に提出すること。
※工事用製本図面（工事用A2版）（3）部（縮小版A3版）（3）部

55

完成時の提出図書

作成方法は「山口県営繕系工事完成図作成要領」、「工事完成図書の手引き」及び「電子納品に関する手引き」【営繕系工事編】」による。提出図書は以下のとおり。
※竣工図A2版（2）部、CADデータ共 ・ 竣工図A2版（ ）部、CADデータ共
※原簿紙付A4版（工事名、工程、受注者名を記入）に次の図書を製本したもの。
※ 竣工図 ※ 竣工図 ※ 機器図（保証書のコピー） ※ 各種試験成績表
※ 取扱説明書（安全に関する指導案内を含む） ※ 各種申請書類のコピー
※ 公的機関の検査済証 ※ 工事担当者名簿 ※ 下請業者名簿 ※ 主要材料届 ※ 施工体系図
提出部数 ・ 学校施設 1部 ・ 学校施設以外 2部
※施工計画書 1部 ※学校施設とは事業課が教育政策課の施設

66

工事写真

下記のものに監査職員に提出する

分類	規格	撮影場所	部数	備考
※ カラー	※ サーピス版（L版）	適宜	1部	電子データ共

電子データの提出方法については「工事完成図書の手引き」及び「電子納品に関する手引き」【営繕系工事編】」による。
工事写真は、国土交通省大臣官庁官庁官庁「工事写真撮影ガイドブック」、「営繕工事写真撮影要領（最新版）」及び「デジタル工事写真の最小情報電子化基準」による。
完成時に1部提出する。

77

工事日報

イ) ・ すべて本工事 ※ 図面特記のない場合、下表による

88

他工事との取合い

ロ) 他工事との取合い等が検討できる施工図を提出して、監査職員の承認を受ける。

他工事との取合い		建築	電気	機械
鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（埋込み型、プルボックス、ダクト、配管等）の仮設、撤入れ及び貫通スリーブ	開口部補強	※	・	・
	電気のスリーブ等	・	※	・
埋込型設備機器取付箇所の壁、壁、天井のボード類の切込み及び下地補強	機械のスリーブ等	・	・	※
	切込み及び補強	※	・	・
電気室、自家発電室などの基礎及びピット（ふた含）	電気配出し	・	※	・
	機械配出し	・	・	※
天井点検口	基礎及びピット	※	・	・
経路敷設用のボックス取付用下地	電気配出し	・	※	・
	機械配出し	・	・	※
機器類の吊りボルト用インサート	電気設備	・	※	・
	機械設備	・	・	※
機器類の取付用アンカーボルト	電気設備	・	※	・
	機械設備	・	・	※
コンクリート基礎（外灯設備）	機械設備	・	・	※
コンクリート基礎（機械設備機器類）	電気設備	・	※	・
	屋上設置	※	・	・
	屋内設置	・	・	・
屋外設置	・	・	・	
オイルサーピスタック防油処理		※	・	・
自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアヒンジ		※	・	・
OAフロア・フリーアクセスフロアパネルの切込み及び補強		※	・	・
OAフロア・フリーアクセスフロア仕上材の切込み及び補強		・	※	・
外壁取付けガラリ		※	・	・
換気扇枠、換気扇枠用アルミパネル開口（ストッパー取付を含む）		※	・	・
建築工事を含む設備機器附属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側	・	※	・
	2次側（調整含む）	※	・	・
機械設備工事を含む設備機器附属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側	・	※	・
	2次側（調整含む）	・	・	※
機械設備制御盤から別途盤類への導線配管・配線の接続		・	※	・
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管		・	※	・
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線		・	・	※
エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付		・	・	※
エアコンの屋内機、屋外機間の導線配線（アース（緑色）共）		・	・	※
換気機器用スイッチの配管・配線及びスイッチ取付		・	※	・
換気機器用スイッチ本体（全熱交換ユニット用、2.4時間換気用を除く）		・	※	・
機械設備工事を含む遮断弁設置の操作部及び感知器の配管・配線		・	※	・
機械設備工事を含む電極の配管・配線		・	※	・
脱着装置の埋込ボックス		・	・	※
電気開閉式大便器用洗淨弁の一次側電線の配管・配線		・	※	・
電気開閉式大便器用洗淨弁とスイッチ間の配管		・	※	・
電気開閉式大便器用洗淨弁とスイッチ間の配線		・	・	※
ガス給湯器等のアース配線		・	・	※
屋内、屋外雨水管		※	・	・

11

設計用温度湿度条件

	外気条件		室内（調整日標値）			
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)
夏期	33.1℃	61.0%	26.0℃	成行%	℃	%
冬期	2.1℃	50.0%	22.0℃	成行%	℃	%

22

機器選定能力

機器の冷房・暖房能力は定格能力による選定とし、図示能力以上の機器を選定する。

※ 配管用炭素鋼管（白管）〔JIS G 3452〕 ・ 配管用ステンレス鋼管〔JIS G 3459〕

33

冷水・温水・冷温水
屋外・空気抜・給排水

※ カラー硬質ポリ塩化ビニル管（カラーVP）（露出部分）〔JIS K 6741〕
※ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）〔JIS K 6741〕 または
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル製三層管（RF-VP）〔JIS K 9798〕（原則RF-VP）
（区画貫通部にRF-VPを使用する場合は区画貫通処理を施すこと）
※ 空調ドレン用格柵防止層付硬質塩化ビニル管
・ 配管用炭素鋼管（白管）〔JIS G 3452〕

44

ドレン管・通気管

※ 塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA）（SGP-FVA）〔JWWA K 116.WSP 011〕
・ 配管用炭素鋼管（白管）〔JIS G 3452〕
※ 配管用炭素鋼管（黒管）〔JIS G 3452〕 ・
※ 配管用炭素鋼管（黒管）〔JIS K 3452〕 ・ 外面被覆鋼管
・ 一般配管用ステンレス鋼管〔JIS G 3448〕
※ 配管用炭素鋼管（黒管）〔JIS G 3452〕 ・ 外面被覆鋼管

55

冷却水管

※ 断熱材被覆鋼管〔JCDA 0009〕
※ 2種管又は3種管を使用する。
改修時において火気を使用してはならない箇所については、JCDA0012によるメカニカル継手を使用してもよい。

66

冷媒管

冷媒はHFCとする。

JIS 5 Kとする。ただし特記部分は、JIS 10 K とする。

77

エアコン用冷媒

イ) 形式はビーター式（コック付）とする。 ・ 兼脱式 ※固定式
ロ) 標準仕様書によるほか下記及び図示の箇所にも取付ける。
・ ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
・ 冷温水ヘッダーの各送リ管 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
・ ユニット形空調機と機械の冷温水入口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング

88

温度計

標準図によるほか図示した箇所及び下記の箇所にも取付ける。
・ ユニット形空調機と機械の温水ダクト、外気ダクト及び給気ダクト

99

パッケージ型空調機
(マルチパッケージ形及び
ガスエンジンヒートポンプ式
を含む)

※ 冷暖房能力はJIS B 8616による。（ただし、GHPはJIS B 8627による。）
※ 屋内機、屋外機ともアース線をとる。
※ 屋外機は防振パット敷きの上、ダブルナットにて固定し、フィンガードを設置する。
※ 高さが1000H以上の屋外機は転倒防止措置を講じる。
（ただし、耐震計算書により転倒しないことが確認された場合を除く）
※ 定格電流値が20Aを超える機器は、高調波対策（アクティブフィルター）を施す。

100

ファンコイルユニット

イ) ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁（ダイヤフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形）を取付ける。
ロ) カセット形の流量分配ダクトは、自己消火性のポリスチレンフォームでもよい。

111

放熱器

放熱器弁及びレタランコック又はトラップを取付ける。

枠及びスリット材質は ・ 鋼板製 ※ アルミニウム製（ ・ 着色する ・ 着色しない）

122

吹出口・吸込口

長方形ダクトは ・ アングルフランジ工法
・ コーナボルト工法（適用範囲は標準仕様書による）

円形ダクトは ・ ※バイラルダクト
厨房用排気ダクトの板厚は以下のとおりとする。
長方形ダクトの場合

ダクトの長さ	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
450以下	0.5以上	0.6以上
450を超え1200以下	0.6以上	0.8以上
1200を超え1800以下	0.8以上	1.0以上
1800を超えるもの	0.8以上	1.2以上

円形ダクトの場合

円形ダクトの寸法	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
300以下	0.5以上	0.6以上
300を超え750以下	0.5以上	0.6以上
750を超え1000以下	0.6以上	0.8以上
1000を超え1250以下	0.8以上	1.0以上
1250を超えるもの	0.8以上	1.2以上

133

ダクト

144

フレキシブルダクト

吹出口、吸込口ボックスの接続用以外にも、機器との接続用として使用してもよい。

155

フィルターの予備品

各種フィルターの予備品は下記による。
※ 100%（ ） ・ 50%（ ） ・

166

消音内貼り

イ) 図示のダクト並びにチャンバーの保温材は、グラスウールとする。
ロ) 内貼りチャンバー類の寸法は、外形寸法とする。
ハ) 内貼したチャンバーの図示の箇所には点検口を取付ける。
点検口の大きさは原則として400×600とする。

177

煙道

イ) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm
ロ) ばい煙濃度計 ・ 設置 ・ 不設置 ・ 取付座を設置
ハ) ばいじん量測定口80φ（大気汚染防止法による） ※ 設置 ・ 不設置

188

オイルサーピスタック

イ) 液面制御装置 ※ 取付ける ・ 取付けない
機能 ・ 給油ポンプの起動、停止 ・ 返油ポンプの起動、停止
・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠方警報接点
ロ) 液面計はゲージ式（側圧式）とする。（警報接点 ※ 無し ・ 有り）

199

地下オイルタンク

イ) 取付け方法は標準図 ・ 施工33.35
・ 施工32.34（鋼製強化プラスチック製二重殻）
ロ) タンクの保護被覆 ・ ウレタンエラストマー樹脂 ※ エポキシ樹脂
・ 強化プラスチック二重殻
ハ) 過満油量指示計 ※ 取付ける（※ 抵抗変位式 ・ 磁変式 ・ ）
・ 取付けない
ニ) 基礎杭 ※ 不要 ・ 要 （ ・ 本工事 ・ 別途工事）
ホ) 土留め工事 ※ 不要 ・ 要 （ ・ 本工事 ・ 別途工事）

200

保温

イ) 天井内の空調ドレン管 ※ 保温する ・ 保温しない
ロ) 屋内露出の空調ドレン管 ※ 保温する ・ 保温しない
ハ) 経路内、パイプシャフト内の空調ドレン管 ・ 保温する ※ 保温しない
ニ) 屋内露出冷媒配管の外被材 ※ 保温化被覆（塩ビ製） ・
ホ) 屋外露出冷媒配管の外被材 ・ 保温化被覆（塩ビ製） ※ ステンレス鋼板
ヘ) スパイラルダクトの保温 ※ グラスウール保温板 32K ・ グラスウール保温板 40K
ト) 全熱交換器外気側の保温（25mm厚）施工 ※ 給気ダクト ※ 排気ダクト
チ) 厨房用排気ダクト（陽べい部）の断熱 ※ 行う（h・イ）・Ⅶ） ・ 行わない（レンジフード含む）
リ) 空調室を通る外気取入れ用ダクト ※ 保温する ・ 保温しない（天井内を含む）

211

和風大便器の耐火処理

標準図（施工67（b））により施工する場所（ ）

222

大便器用便座

原則として普通便座を使用するが、湯水洗浄便座等を使用する場合は図中特記による。

233

配管材料

イ) 一般配管用 ※ 水連用管化ビニルライニング鋼管（SGP-VA）（SGP-FVA）〔JWWA K116.WSP 011〕
ロ) 土間配管用 ※ 内外両面化ビニルライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD）〔JWWA K116.WSP 011〕
（コンクリート埋設を含む）
ハ) 屋外地中配管用 ・ ※適用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP）〔JIS K 6742〕
・ 内外両面化ビニルライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD）〔JWWA K116.WSP 011〕
・ ※適配水用ポリエチレン管〔JWWA K 144〕

ニ) 特記なき給水管の最小口径は20Aとする。

※ 使用する（標準仕様書による）

※ 弁類は、JIS 10 K とする。
・ 高麗水栓以降の配管に使用するものは、JIS 5 K とする。
※ 量水器、給水引込部の止水栓、弁類は水道事業者の指定品を優先する。

244

管端防食継手

※ 使用する（標準仕様書による）

255

弁類

※ 弁類は、JIS 10 K とする。
・ 高麗水栓以降の配管に使用するものは、JIS 5 K とする。
※ 量水器、給水引込部の止水栓、弁類は水道事業者の指定品を優先する。

266

緊急遮断弁装置

イ) 遮断弁駆動方式 ※ 電気式 ・ 機械式
ロ) 地震感知器 ※ 電子式 ・ 機械式

277

水栓柱

※ 合成樹脂製（内部コンクリート） ・ アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼製

秀 総合設計

syuu sougousekkei

PROJECT

小野田赤十字病院 1棟移改修（5床増床）工事

TITLE

機械設備工事 特記仕様書-2

SCALE

N/S

DESIGN

Kurose

DRAWING

Kurose

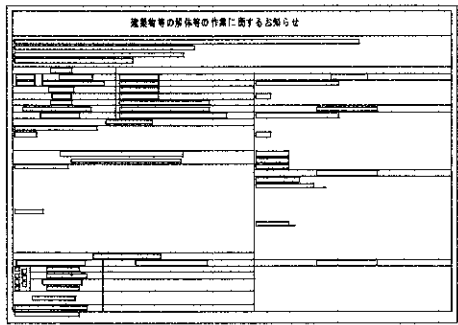
DATE

2026.05.20

図面作業

No.

M-02

給 水 設 備	6.	さや管ヘッダー配管システム	イ) 配管材料 ・ 架橋ポリエチレン管 (PE) [JIS K 6769] ・ ポリブテン管 (PB) [JIS K 6778] ロ) 施工 ※さや管ヘッダー配管システムは、(一財)ベターリビング「優良住宅部品質基準」配管システム」 Ⅰ. 総則及びⅡ. 要求事項 1 住宅部品の性能基準に係る要求事項 1. 1 機能の確保～1. 3 耐久性の確保において定める性能等を有すること。 ※樹脂管の通管は、木工事完了後とする。ただし、下記事項を遵守して施工する場合には、さや管と樹脂管の同時施工をしても良い。 a) 配管施工時、樹脂管は系統毎に20cm程度の余長を取る。 b) 木工事完了後、水栓、ヘッダー接続前に内管10cmの押し引き試験を2回行い、チェックリストを作成し、監督員に提出する。 ハ) 樹脂管の接続方法 a) 架橋ポリエチレン管 ※メカニカル接合 ・電気融着接合 b) ポリブテン管 ※メカニカル接合 ・熱融着接合 ・電気融着接合	消 火 設 備	1. 配管材料 イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管 (白管) [JIS G 3452] ロ) 土間配管用 ※ 消火用硬質塩ビ外面被覆鋼管 (SGP-VS) [WSP 041] ハ) 屋外地中配管用 ・ 消火用硬質塩ビ外面被覆鋼管 (SGP-VS) [WSP 041] ・ 消火設備用合成樹脂管 (日本消防設備安全センター認定品) 2. 屋内1号消火栓箱 イ) ※ 易操作性1号消火栓 ・ 1号消火栓 ロ) ・ HB-0A、0B 形 (山口県標準詳細図) ・ HB-1A、1B 形 ・ HB-2A、2B 形 (国交省標準図) ただし箱の大きさは、内法 700×1,000 以上とする。 3. 屋内2号消火栓箱 イ) ・ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ロ) ・ HB-4A、4B 形 (国交省標準図) 4. 弁 類 ※ JIS 10 K ・ JIS 16K 5. 消火ポンプ イ) ユニット形とし標準仕様書による。 ロ) 樹脂壁内に起動リレーを内蔵する。 6. 保 温 消火配管等のうち、次の部分は保温を施す。(仕様は給水の区分による) ※ 屋外露出部分 ※ 消火用充水タンク 7. 消火器 ※ 粉末ABC10型消火器 (蓄圧式) 8. 適用規程 消防法及び関連法規によるほか、消防用設備等の技術基準 (第9次改訂版) 全国消防長会中国支部編による。	2. 埋戻し土 ※ 山砂の類 (・ 標準り600mm程度 ※ 全接切分) ・ 根切土の中の良質土 3. 構内金具等 イ) 屋内配管用 ※ 配管用炭素鋼管 (白) [JIS G 3452] ロ) 土間配管用 ※ ポリエチレン被覆鋼管 [JIS G 3469] ハ) 屋外土中埋設用 ※ 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) [JIS K 6742]	1. 材質 ※ アジャスターはSUS304とする 2. 安全装置 イ) 熱調理器及び洗浄消毒機器の安全装置の適用については、標準仕様書によるほか図面特記による
	1. アスベスト含有事前調査 イ) 設計時事前調査結果 ・ 有り (・ 書面/現地調査 ・ 分析調査) ・ 無し ロ) 着工前の調査における有資格者の指定 ・ 建築物石棉含有建材調査者 (・ 特定 ・ 一般) ・ (一社)アスベスト調査診断協会の登録者 ハ) 調査実施箇所については、監督職員との協議による。 ニ) 事前調査結果を公衆の見やすい場所に掲示すること。 (石棉調査結果記載例 ※A3以上とすること) 	1. 設計時事前調査結果 ・ 有り (・ 書面/現地調査 ・ 分析調査) ・ 無し ロ) 着工前の調査における有資格者の指定 ・ 建築物石棉含有建材調査者 (・ 特定 ・ 一般) ・ (一社)アスベスト調査診断協会の登録者 ハ) 調査実施箇所については、監督職員との協議による。 ニ) 事前調査結果を公衆の見やすい場所に掲示すること。 (石棉調査結果記載例 ※A3以上とすること)					
排 水 設 備	1.	配管材料 イ) 一般配管用 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) [JIS K 6741] または リサイクル硬質ポリ塩化ビニル製造三層管 (RF-VP) [JIS K 9798] (原則RF-VP) (区画貫通部にRF-VPを使用する場合は区画貫通処理を施すこと) ・ 排水用塩ビライニング鋼管 (D-VA) [WSP 042] ・ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FS-VP) ・ ロ) 一般配管用 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) [JIS K 6741] または リサイクル硬質ポリ塩化ビニル製造三層管 (RF-VP) [JIS K 9798] (原則RF-VP) (区画貫通部にRF-VPを使用する場合は区画貫通処理を施すこと) ※ カラー硬質ポリ塩化ビニル管 (カラーVP) [JIS K 6741] (露出部分) ・ 排水用塩ビライニング鋼管 (D-VA) [WSP 042] ・ 配管用炭素鋼管 (白管) [JIS G 3452] ・ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FS-VP) ・ ハ) 屋外地中配管用 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) [JIS K 6741] または リサイクル硬質ポリ塩化ビニル製造三層管 (RS-VU) [JIS K 9797] (原則RS-VU) (車両通行部分においては、土かぶり600mm以上の場所に使用する) ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) [JIS K 6741] ・	ガ ス 設 備	1. 配管材料 イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管 (白管) [JIS G 3452] ・ 塩化ビニル被覆鋼管 (PLV) ロ) ビット内配管用 ※ 塩化ビニル被覆鋼管 (PLV) ・ ハ) 土間配管用 ※ ガス用ポリエチレン管 (PE) [JIS K 6774] ・ ポリエチレン被覆鋼管 (PLP) [JIS G 3469] ニ) 屋外地中配管用 ※ ガス用ポリエチレン管 (PE) [JIS K 6774] ・ ・ ポリエチレン被覆鋼管 (PLP) [JIS G 3469] ホ) コンクリート埋設用 ※ 塩化ビニル被覆鋼管 (PLV) 2. ガスメーター 観メーター ※ ガス供給事業者より借入 ・ 買取り 子メーター ・ ガス供給事業者より借入 ※ 買取り 3. 容器通りの配管 施工方法 標準図 (施工73) ・ 施工要領 (a、b) ・ 施工要領 (c) (予備調整器系統 ※ 不要 ・ 要) 高圧ホースは、ガス放出防止型とする。 4. 容器の転倒防止 施工方法 標準図 (施工74) ※ 施工要領 (a) ・ 施工要領 (b) ただし、ベルト又は鉄線は二重掛けとし、容器の高さの1/4及び3/4の位置に設置する。 5. 防 食 合成樹脂被覆鋼管以外の配管は、支持金具部分プラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする 6. ガス栓 末端ガス栓は、オン・オフとし、接続は次による ※ ホース (ヒューズ) ・ コンセント (ヒューズ) ・ 可とう管 イ) 都市ガス設備は、ガス供給事業者の規定する供給約款等の定めによる ロ) 工事完成後、ガス供給事業者立会いの上検査を行ない引継証を2部提出する	2. アスベスト含有成形板等の除去 イ) 石棉障害予防規則を遵守し施工を行う。 ロ) 作業管理者 石綿作業主任者 又は 特定化学物質等作業主任者 (平成18年3月以前の修了者) ハ) 対象建築材料 (・ 天井ボード ・ エルボ、チーズ保温材 ・ フランジパッキン) 3. アスファルト舗装 特記なき敷地内アスファルト舗装の仕様は以下による。 (・ 再生密粒AS-5-10 ・) 4. 舗装版切断 切断作業時に発生する排水を回収し、産業廃棄物として適正に処理すること。 回収した排水を現場から搬出する場合は、搬出時点で排水のpHを測定し、その結果を写真等に記録すること。この際、pHが12.5以上の場合には特別管理廃棄物となることに留意すること。 pHの測定方法 (※ 携帯式簡易測定器 ・) 処理施設、処理方法、運搬方法は任意とするが、産業廃棄物の種類・取扱いについては、山口県環境生活部及び下関市環境部 (下関市内のみ) の取扱いに準ずること。 監督職員へ manifests を提示する際、併せて pH の測定結果の提示を行うこと。		
	2. バルブソケット 給水用を使用する。 3. 保 温 イ) 硬質ポリ塩化ビニル管を使用する排水管は ※ 保温しない ・ 保温する ロ) パイプシャフト内の排水管は ※ 保温しない ・ 保温する 4. 小口径併 イ) (公社)日本下水道協会規格 JSWAS K-7とする。 ロ) 樹の立ち上がり管はVU管とし、樹脂蓋はくさり (SUS) 付とする。 ハ) VP管との接続は、樹の出口で変換ソケットを使用する。 ニ) 防護ハットの荷重区分は下記とし、内側に止水キャップを取付する。 ※ T-8 ・ T-14 ・ T-25	1. 処理種別及び方式 ・ 小規模合併処理 (・ 分離接触ばっ気方式 ・ 嫌気濾床接触ばっ気方式 ・ 厭塞濾床接触ばっ気方式) ・ 合併処理 (・ 接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・) 2. 形式及び槽の材質 ※ ユニット形 (FRP製) ・ 3. 処理能力 処理対象人員 人 処理水量 m ³ / d 4. 水 質 流入水BOD ・ 200mg / l以下 ・ mg / l以下 放流水BOD ・ 20mg / l以下 ・ mg / l以下 放流水T-N ・ 20mg / l以下 ・ mg / l以下 5. コンクリート工事 ※本工事 ・ 別途工事 6. 基礎杭 ※ 不要 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) 7. 土留工事 ※ 不要 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) 8. 電気工事 ・ 本工事 (操作盤を含む以降の二次配管、配線) ・ 別途工事 電 圧 φ V kW 程度 9. マンホールふた ※ MHA形 ・ MHB形 ・ 製造者規格品 10. 流入管底 GL- mm 11. 放流方式 ※ 自然流下 ・ ポンプアップ排水 (槽及びポンプは ・ 附属品 ・ 図示による)		5. あと施工アンカー 標準図 基礎施工要領 (一) (施工26) の◎印と○印に適用してもよい。 その他機器については、監督職員と協議のこと。 なお、接着系アンカーは上向きに使用してはならない。			

秀 総合設計
syuu sougouseikei

PROJECT
小野田赤十字病院 1病棟改修 (5床増床) 工事

TITLE
機械設備工事 特記仕様書-3

SCALE
N/S

DESIGN
Kurose

DRAWING
Kurose

DATE
・ 2026.05.20 図面作成

No.
M-03

衛 生 器 具 表 （改 修 前）						
器 具 名 称	参 考 型 番 及 び 附 属 品	設 置 場 所				
		屋内（1階）			数 量	備 考
		食 室 ・ 談 話 室				
カウンター式洗面台	M928 TEL85GX（自動水栓）×2個	セット器具等他付属品一式共			1	
	カウンター式洗面器×2個					
	化粧鏡（450×1000H）×2枚	※化粧鏡は一時撤去後保管する			（2）	改修後、再利用

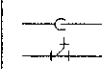
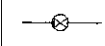
排 水 樹 リ ス ト （改 修 前）						
記号	名 称	形状（樹径・管径・タイプ）		蓋	管底寸法	備 考
G	樹脂製小口径汚水樹	150φ	100φ 90L	鋳鉄製蓋 MHA	GL－ 480	（既設汚水樹）
H	樹脂製小口径汚水樹	150φ	100φ 90Y	鋳鉄製蓋 MHA	GL－ 550	（既設汚水樹）
I	樹脂製小口径汚水樹	150φ	100φ ST	鋳鉄製蓋 MHA	GL－ 665	（既設汚水樹）

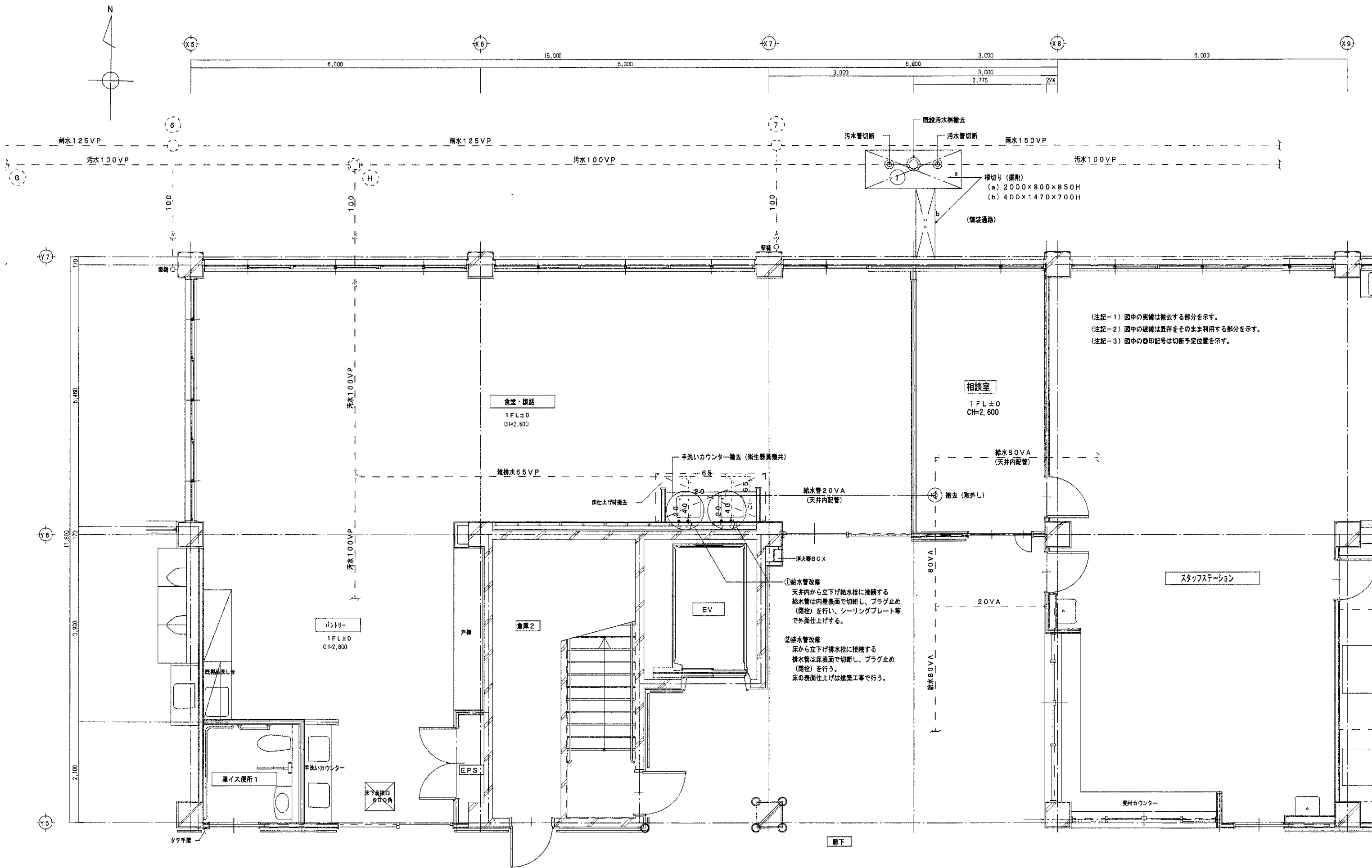
※管底寸法は参考値とする。

衛 生 器 具 表 （改 修 後）						
器 具 名 称	参 考 型 番 及 び 附 属 品	設 置 場 所				
		屋内（1階）			数 量	備 考
		病 室 A ・ 4 床	病 室 B ・ 1 床			
車椅子対応洗面台	MYHF L1000×D580（エンドパネル式）洗面器一体形	セット器具等他付属品一式共			2	
	化粧鏡×2枚	（1）	（1）		（2）	既設品再利用
小型電気温水器	RECK03B1R533M6K（自動水栓一体形）	セット器具等他付属品一式共			2	単相100V－600W

排 水 樹 リ ス ト （改 修 後）						
記号	名 称	形状（樹径・管径・タイプ）		蓋	管底寸法	備 考
G	樹脂製小口径汚水樹	150φ	100φ 90L	鋳鉄製蓋 MHA	GL－ 480	（既設汚水樹）
H	樹脂製小口径汚水樹	150φ	100φ 90Y	鋳鉄製蓋 MHA	GL－ 550	（既設汚水樹）
I－1	樹脂製小口径汚水樹	150φ	100φ 90Y	鋳鉄製蓋 MHA	GL－ 665	（新設汚水樹）
I－2	樹脂製小口径汚水樹	150φ	100φ 45L	鋳鉄製蓋 MHA	GL－ 600	（新設汚水樹）

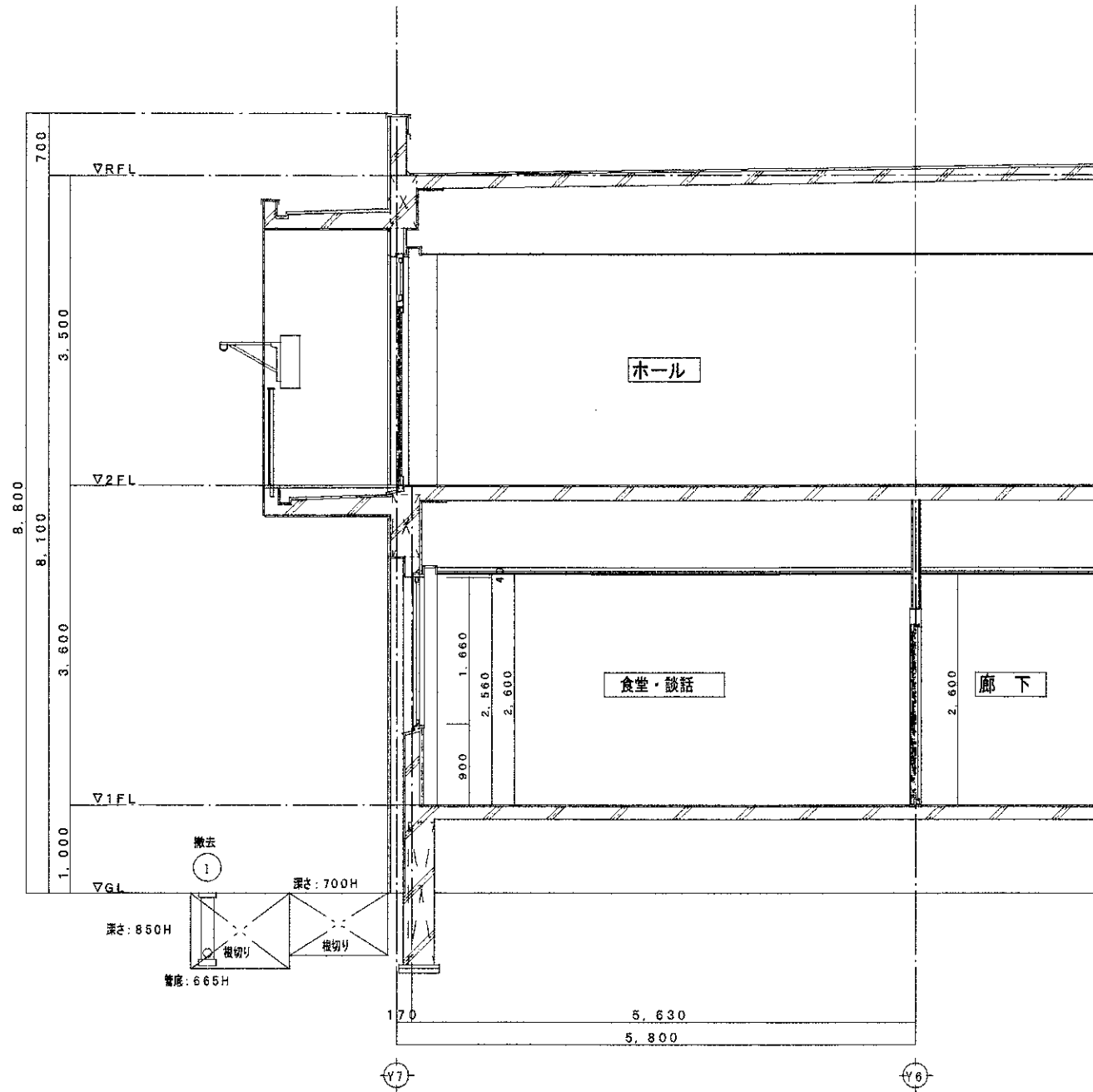
※管底寸法は参考値とする。

凡 例				
記号	名 称	区分		備 考
――――	給水管	屋内	一般	塩ビライニング鋼管（SGP－VA）
			地中	塩ビライニング鋼管（SGP－VD）
	汚水管 雑排水管 通気管	屋内	一般	硬質塩化ビニル管（VP）
			架空	硬質塩化ビニル管（VP）
		屋外	地中	硬質塩化ビニル管（VP）
			架空	硬質塩化ビニル管（VP）
――X――	消火管	屋内	一般	配管用炭素鋼鋼管（白）
		屋外	架空	配管用炭素鋼鋼管（白）
――I――	給湯管	屋内	一般	一般配管用ステンレス鋼鋼管
		屋外	架空	一般配管用ステンレス鋼鋼管
	仕切弁	屋内	一般	GV－JIS10K
		屋外	地中	GV－JIS10K

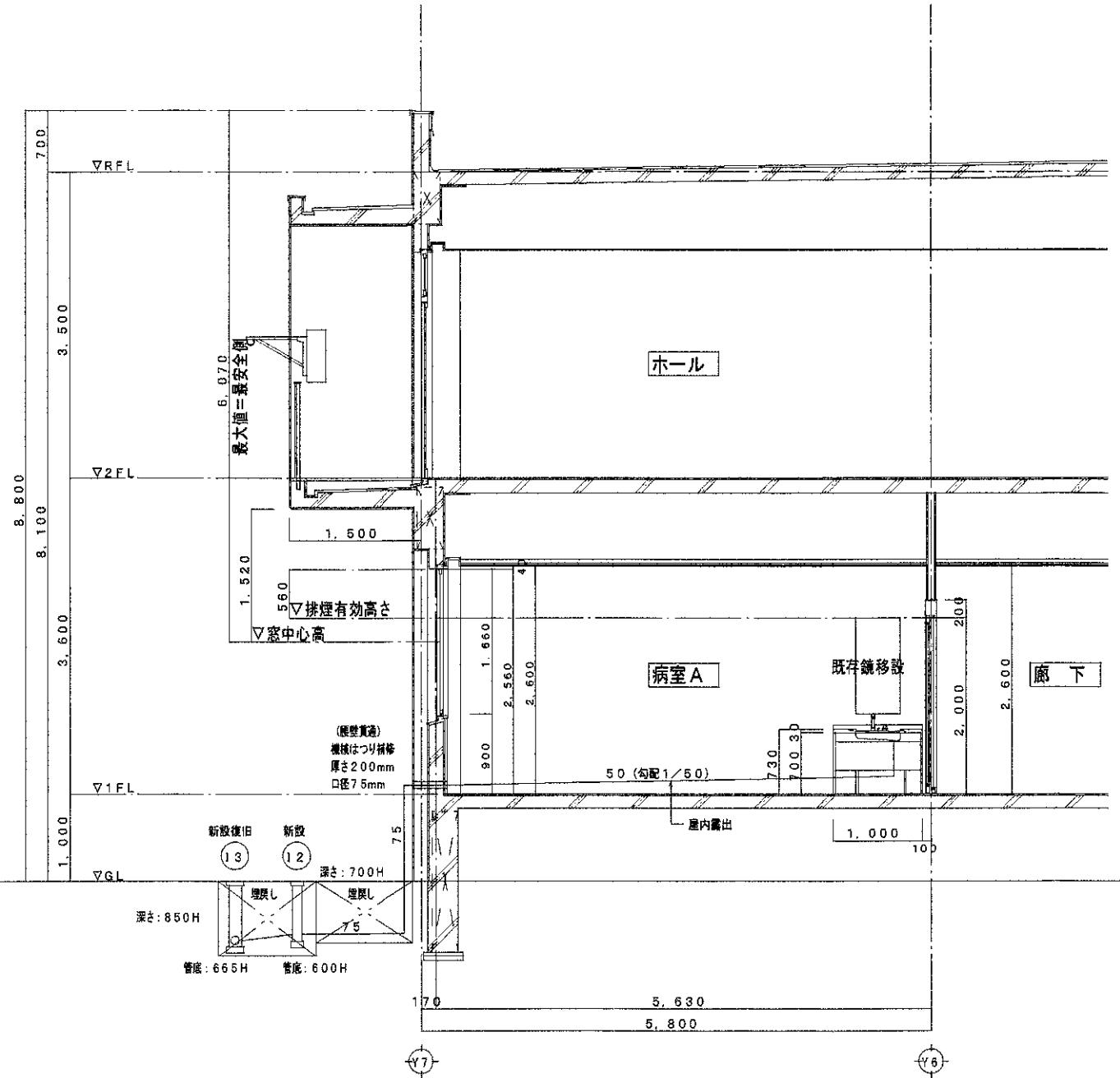


(注記-1) 図中の実線は撤去する部分を示す。
(注記-2) 図中の破線は既存をそのまま利用する部分を示す。
(注記-3) 図中の印記号は切断予定位置を示す。

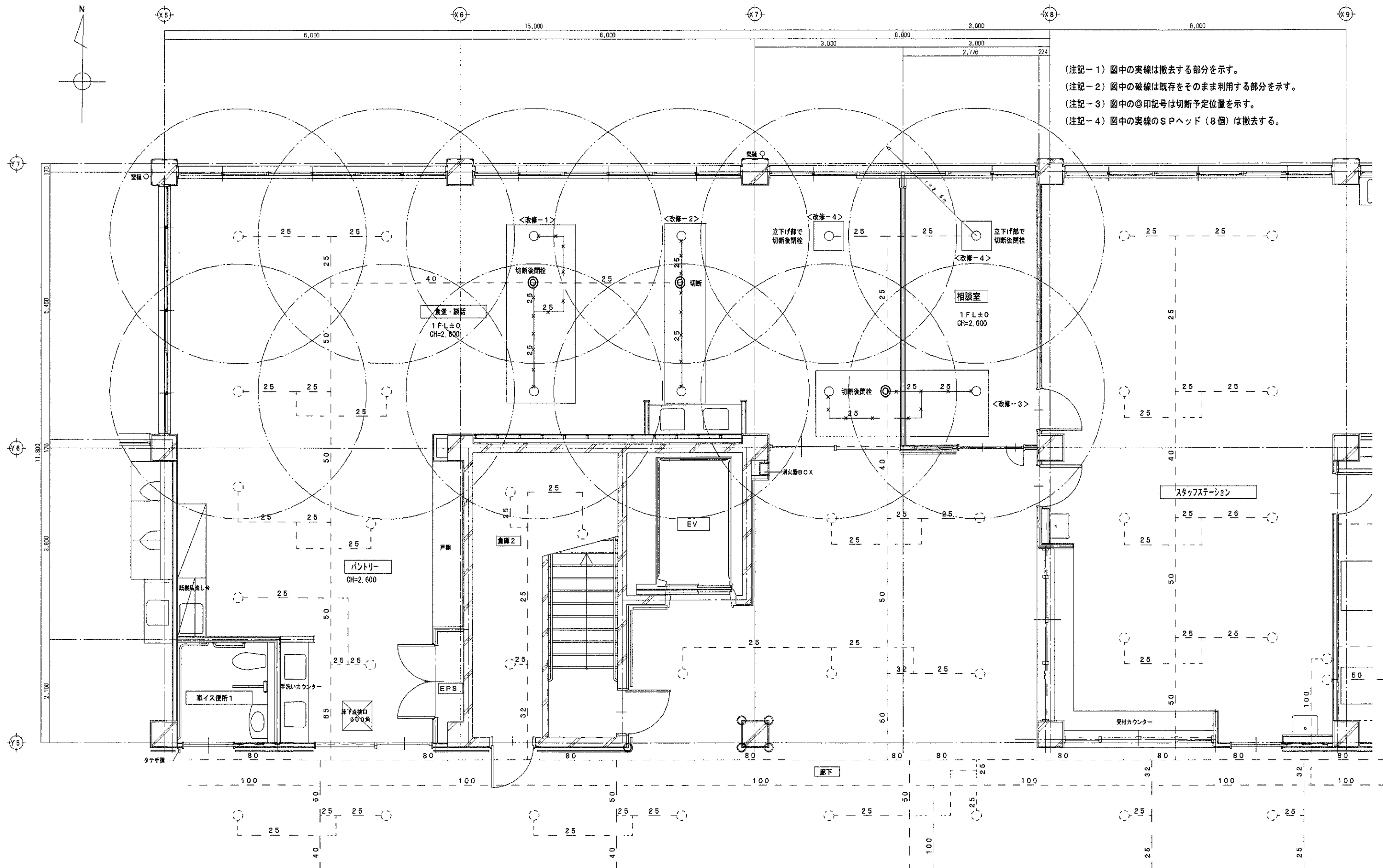
- ①給水管改修
天井内から立下げ給水栓に接続する
給水管は内装表面で切断し、プラグ止め
(閉栓)を行い、シーリングプレート等
で外面仕上げる。
- ②排水管改修
床から立下げ排水栓に接続する
排水管は床表面で切断し、プラグ止め
(閉栓)を行う。
床の表面仕上げは建築工事で行う。



改修前 断面詳細図 S=1/50



改修後 断面詳細図 S=1/50



- (注記-1) 図中の実線は撤去する部分を示す。
(注記-2) 図中の破線は既存をそのまま利用する部分を示す。
(注記-3) 図中の◎印記号は切断予定位置を示す。
(注記-4) 図中の実線のSPヘッド(8個)は撤去する。

秀 総合設計 syuu saougousekkei	PROJECT 小野田赤十字病院 1病棟改修(5床増床)工事	TITLE (スプリンクラー設備) 改修前 消火設備 平面詳細図	SCALE 1:50	DESIGN Kurose	DRAWING Kurose	DATE 2026.05.20 図面作成	No. M-07
------------------------------	-----------------------------------	--	---------------	------------------	-------------------	-------------------------	-------------

空調機器仕様表

(改修前)

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電気特性（消費電力）参考			台数	設 置 室 名
			KW	φ	V		
GHP-4-1	マルチエアコン室内機	天井カセット形（4方向吹出し）	0.03	1	200	2	食堂・談話室
		冷房能力：7.1kW 暖房能力：8.0kW					
		付属品：化粧パネル					
		※化粧パネル外形：910×910（重量：約5kg）					
GHP-6-3	マルチエアコン室内機	天井カセット形（2方向吹出し）	0.03	1	200	1	相談室
		冷房能力：3.6kW 暖房能力：4.0kW					
		付属品：化粧パネル					
		※化粧パネル外形：1070×700（重量：約10kg）					

(注記-1) 各化粧パネルのみ一時撤去する。

表 樣 仕 器 機 氣 換

(改修前)

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電気特性（消費電力）参考			台数	設 置 室 名
			W	φ	V		
VF-2	排気ファン	ダクト用換気扇 低騒音形 100φ×100mm3/h ※パネル外形：350×350（重量：0.3kg）	22	1	100	2	食堂・談話室×1 相談室×1
OG-1	自然給気口	天井取付形 VHS（F付） ※パネル外形：300×300（重量：0.5kg）				1	食堂・談話室×1

(注記-1) 各給排気パネルのみ一時撤去する。

空調機器仕様表

(改修後)

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電気特性（消費電力）参考			台数	設 置 室 名
			KW	φ	V		
GHP-4-1	マルチエアコン室内機	天井カセット形（4方向吹出し）	0.03	1	200	2	食堂・談話室×1
		冷房能力：7.1kW 暖房能力：8.0kW					病室A（4床）×1
		付属品：化粧パネル					
		※化粧パネル外形：910×910（重量：約5kg）					
GHP-6-3	マルチエアコン室内機	天井カセット形（2方向吹出し）	0.03	1	200	1	病室B（1床）×1
		冷房能力：3.6kW 暖房能力：4.0kW					
		付属品：化粧パネル					
		※化粧パネル外形：1070×700（重量：約10kg）					

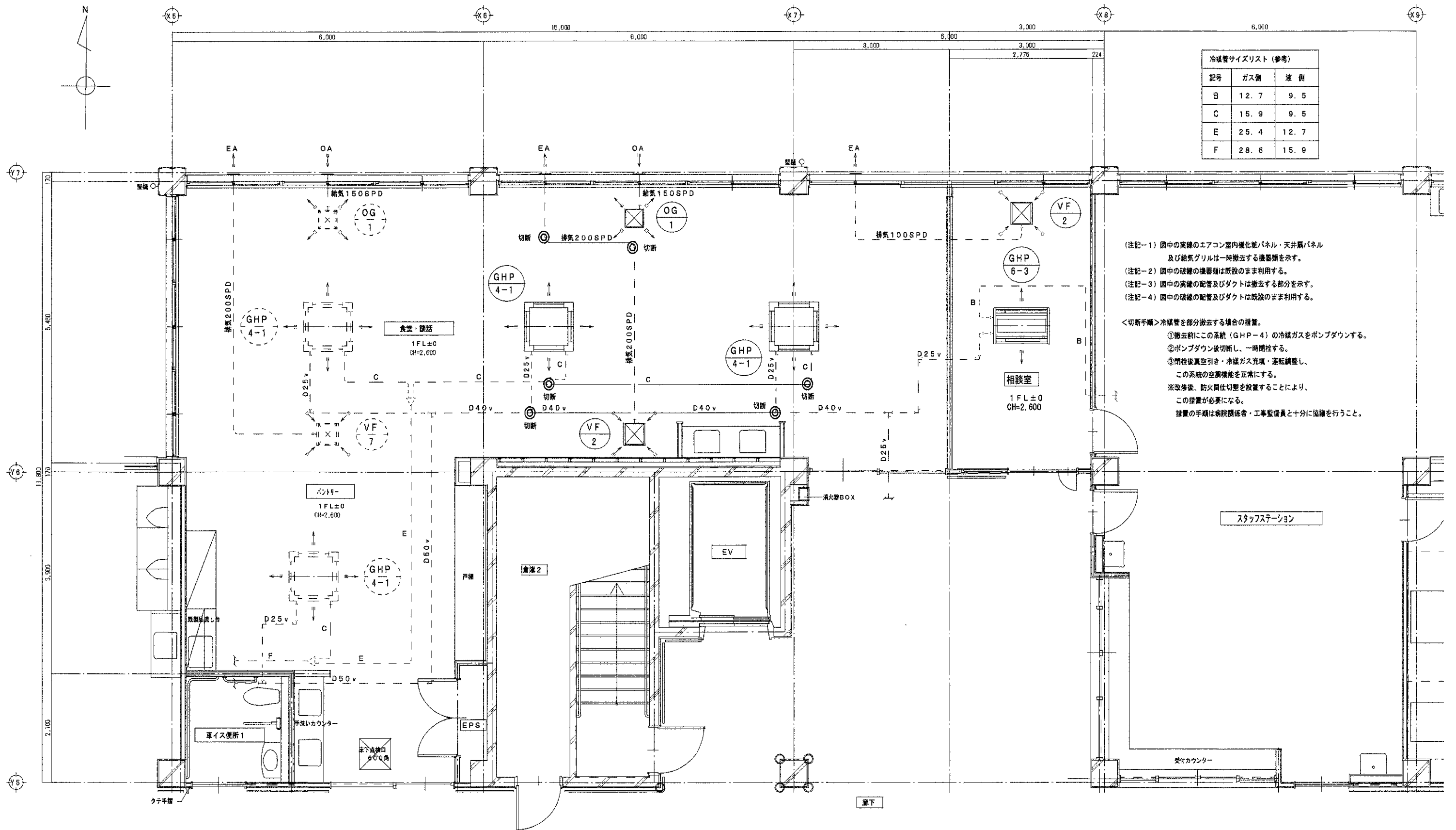
(注記-1) 各化粧パネルのみ再取付する。

表 樣 仕 器 機 氣 換

(改修後)

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電気特性（消費電力）参考			台数	設 置 室 名
			W	φ	V		
VF-2	排気ファン	ダクト用換気扇 低騒音形 100φ×100m3/h ※パネル外形：350×350（重量：0.3kg）	22	1	100	2	病室A（4床）×1 病室B（1床）×1
QG-1	自然給気口	天井取付形 VHS（F付） ※パネル外形：300×300（重量：0.5kg）				1	病室A（4床）×1

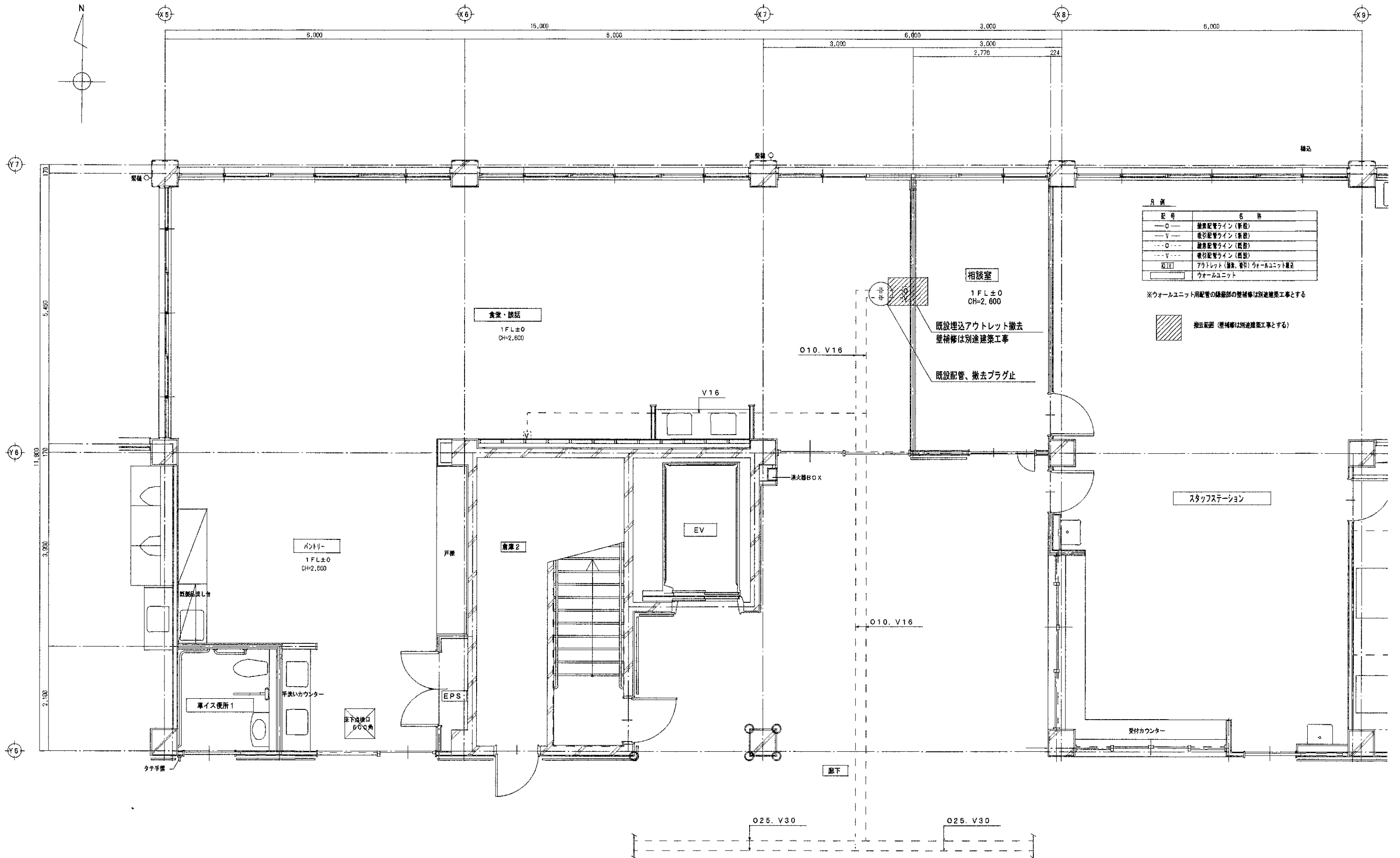
(注記-1) 各給排気パネルのみ再取付する。



冷暖房サイズリスト (参考)		
記号	ガス側	液側
B	12.7	9.5
C	15.9	9.5
E	25.4	12.7
F	28.6	15.9

- (注記-1) 図中の実線のエアコン室内機化整パネル・天井取付パネル及び給気グリルは一時撤去する機器類を示す。
(注記-2) 図中の破線の機器類は既設のまま利用する。
(注記-3) 図中の実線の配管及びダクトは撤去する部分を示す。
(注記-4) 図中の破線の配管及びダクトは既設のまま利用する。

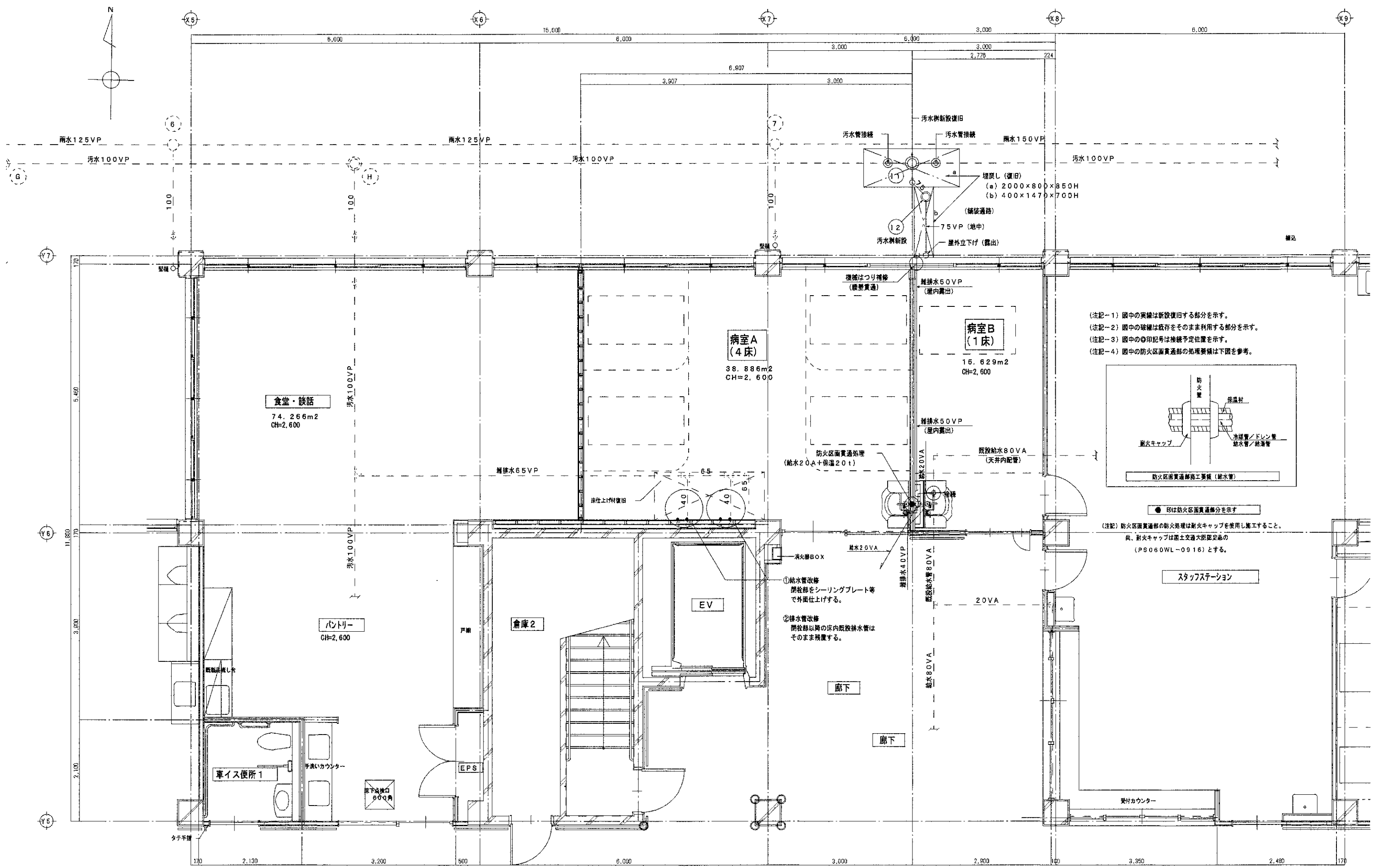
- <切手手順>冷暖房を部分撤去する場合の措置。
①撤去前にこの系統 (GHP-4) の冷暖ガスをポンプダウンする。
②ポンプダウン後切手し、一時閉鎖する。
③閉鎖後真空引き・冷暖ガス充填・運転調整し、この系統の空調機能を正常にする。
※改修後、防火間仕切壁を設置することにより、この措置が必要になる。
措置の手順は病院関係者・工事監督員と十分に協議を行うこと。

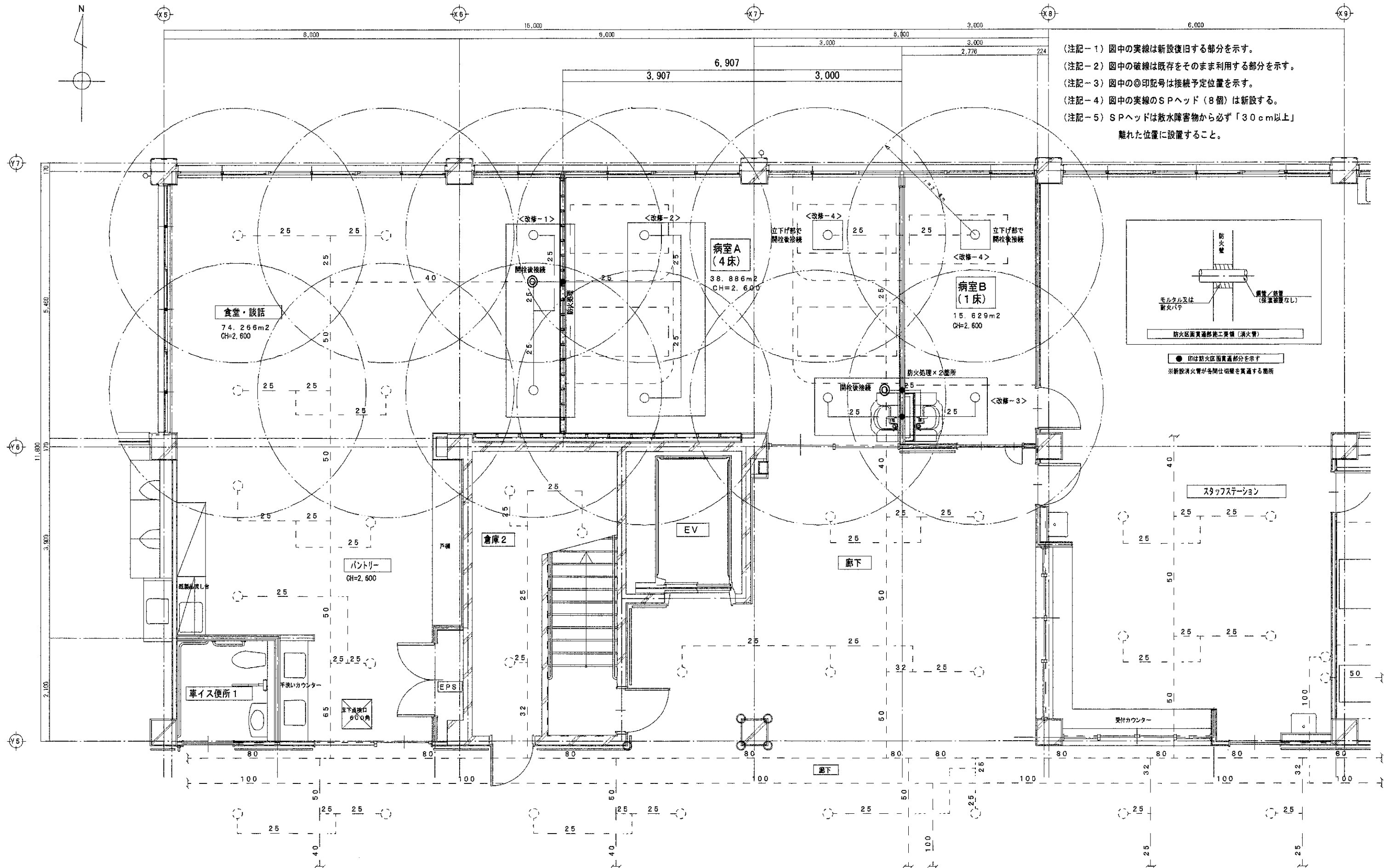


凡 例	
記 号	名 称
—○—	排水配管ライン (新設)
—V—	吸引配管ライン (新設)
---○---	排水配管ライン (既設)
---V---	吸引配管ライン (既設)
□ (V)	アクトレット (排水、吸引) ウォールユニット設置
□	ウォールユニット

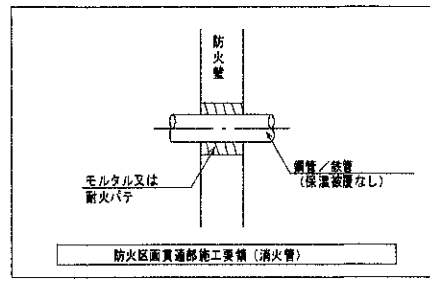
※ウォールユニット用配管の隠蔽部の壁補修は別途建築工事とする

撤去範囲 (壁補修は別途建築工事とする)



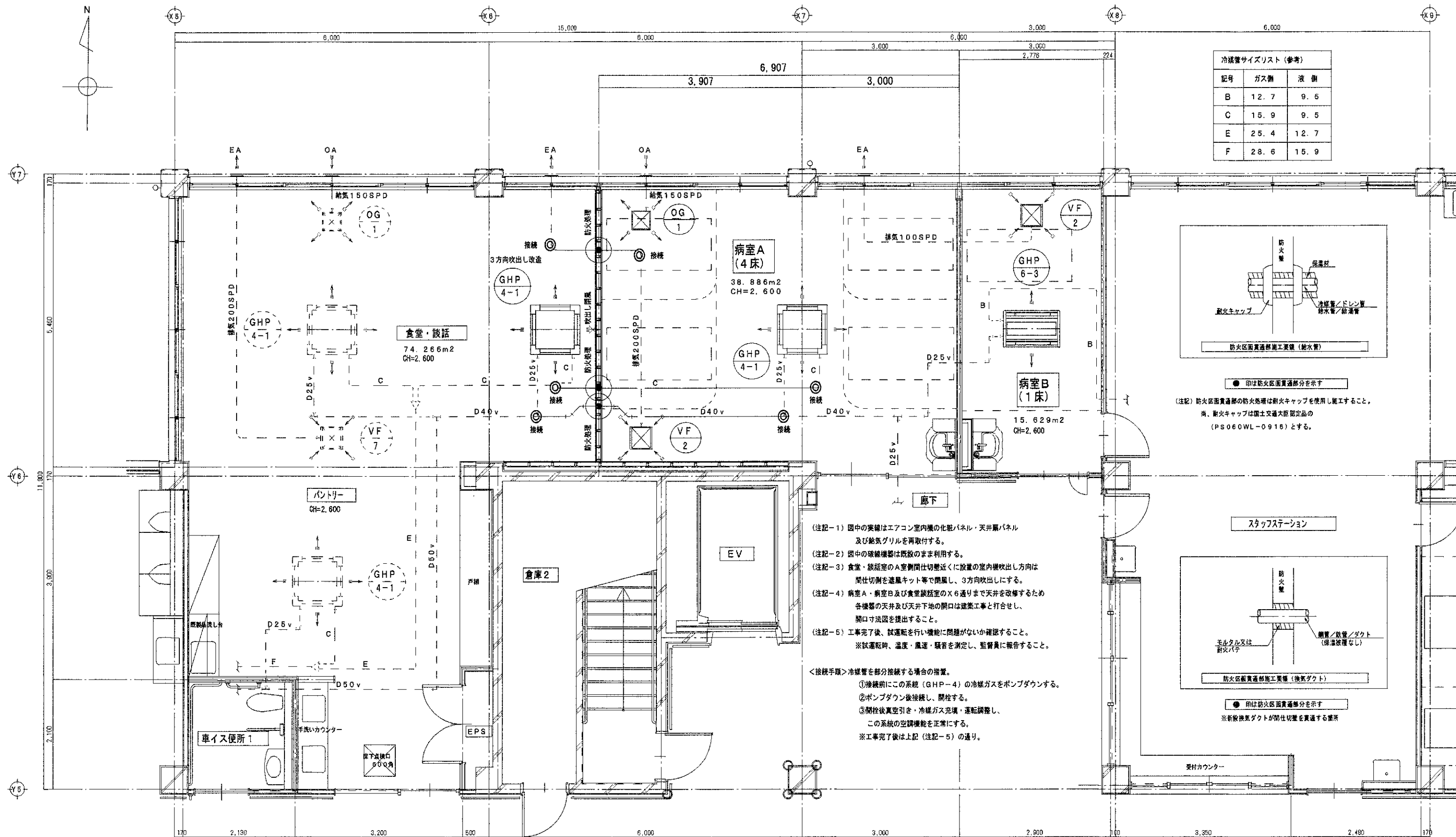


- (注記-1) 図中の実線は新設復旧する部分を示す。
(注記-2) 図中の破線は既存をそのまま利用する部分を示す。
(注記-3) 図中の◎印記号は接続予定位置を示す。
(注記-4) 図中の実線のSPヘッド(8個)は新設する。
(注記-5) SPヘッドは散水障害物から必ず「30cm以上」離れた位置に設置すること。

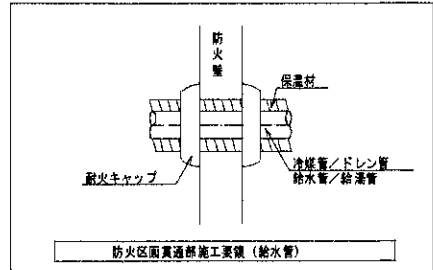


●印は防火区画貫通部分を示す
※新設消火管が各間仕切壁を貫通する箇所

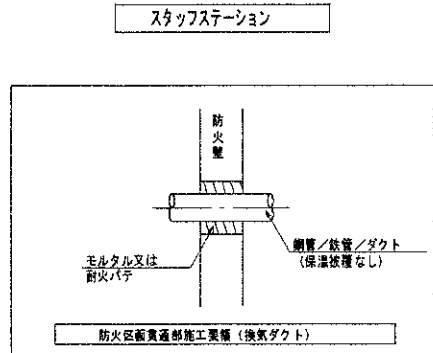
秀 総合設計 syuu sougouppkei	PROJECT 小野田赤十字病院 1病棟改修(5床増床)工事	TITLE (スプリンクラー設備) 改修後 消火設備 平面詳細図	SCALE 1:50	DESIGN Kurose	DRAWING Kurose	DATE 2026.05.20 図面作成	No. M-12
----------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	---------------	------------------	-------------------	-------------------------	-------------



冷媒管サイズリスト (参考)		
記号	ガス側	液側
B	12.7	9.5
C	15.9	9.5
E	25.4	12.7
F	28.6	15.9



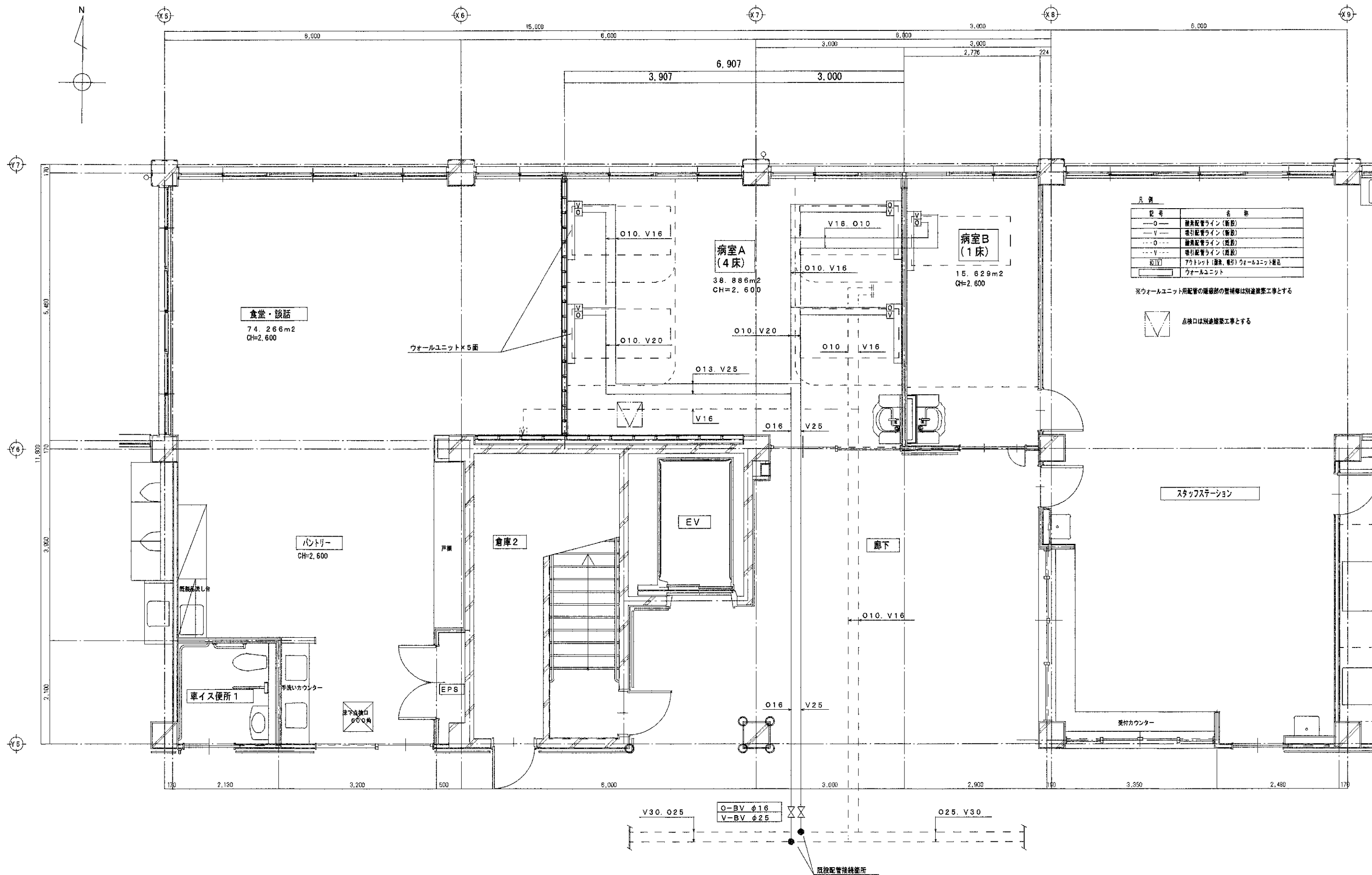
●印は防火区画貫通部分を示す
(注記) 防火区画貫通部の防火処理は防火キャップを使用し施工すること。
尚、防火キャップは国土交通大臣認定品の
(PS060WL-0918)とする。



●印は防火区画貫通部分を示す
※新設換気ダクトが間仕切壁を貫通する箇所

- (注記-1) 図中の実線はエアコン室内機の化粧パネル・天井扇パネル及び給気グリルを再取付する。
(注記-2) 図中の破線機器は既設のまま利用する。
(注記-3) 食堂・談話室のA室側間仕切壁近くに設置の室内機吹出し方向は間仕切側を遠風キット等で閉風し、3方向吹出しにする。
(注記-4) 病室A・病室B及び食堂談話室のX6通りまで天井を改修するため各機器の天井及び天井下地の開口は建築工事と打合せし、開口寸法図を提出すること。
(注記-5) 工事完了後、試運転を行い機能に問題がないか確認すること。
※試運転時、温度・風速・騒音を測定し、監督員に報告すること。

- <接続手順>冷媒管を部分接続する場合の措置。
①接続前にこの系統 (GHP-4) の冷媒ガスをポンプダウンする。
②ポンプダウン後接続し、開栓する。
③開栓後真空引き・冷媒ガス充填・運転調整し、この系統の空調機能を正常にする。
※工事完了後は上記 (注記-5) の通り。



凡 例	
記 号	名 称
—○—	排水配管ライン (新設)
—V—	吸引配管ライン (新設)
---○---	排水配管ライン (既設)
---V---	吸引配管ライン (既設)
□	フロアトレット (排水、吸引) ウォールユニット連立
□	ウォールユニット

※ウォールユニット用配管の隠蔽部の整補修は別途建築工事とする

点検口は別途建築工事とする